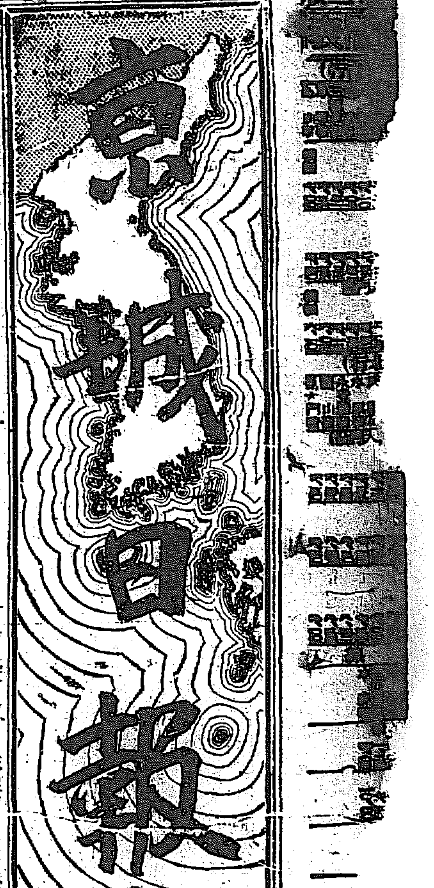


十六日夕刊
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介

◎聯合國々際會議開會　十四日午前巴里、佛國外務省に於て

聯合國々際經濟會議は十四日午前十時巴里の佛國外務省に於て開會せられ英國よりボーナーロー氏、濠洲よりヒューズ氏、加奈陀よりリフオースター氏、露國よりボクロウスキー氏、日本より阪谷男、伊太利よりダンコー氏、塞耳維よりマルキノキッチ氏、白耳義よりレーヤン氏出席し佛國首相ブリアン氏議長たり會議後パレードッルセー、ホテルに於て午餐の催ありたり(倫敦電報)

◎獨逸艦隊飛船の西行

アムステルダム來電に曰く大型軍艦七隻より成る獨逸艦隊はツエッペリン飛行船を先頭に西方に向けフリーシアン島沖(獨逸沿岸)を通過し居たり(倫敦電報)

◎露軍兩地を略取す

露都來電に曰く露軍はルツクの西十四哩のトルチンを占領しザバノフを略取せり別に露國騎兵聯隊はスヤチンに侵入したり(倫敦電報)

◎ヴエルダン危急か

ヴエルダン要塞に對する獨軍の猛襲益々激烈を極め要塞の運命愈々危急に瀕せりとの報あり(東京電報)

◎加奈陀兵の奮鬪振り

在佛英軍司令官ヘイグ將軍の公報に依れば加奈陀兵は最も花々しき勝利を博し十三日午前一時三十分其の目標としたるゼシベク東南千五百マークの戰線に在る我が舊占領地を回復し敵に多大の損害を與へたり(倫敦電報)

◎駐支英國公使の更迭

駐支英國公使ジョルダン氏は歸國の念切なりしが今回愈々歸國することゝなりたり同氏の後任は現極東局長にして七月上旬日本に立寄りたる後北京に赴任すべくジョルダン氏は同氏の赴任を待ち事務引繼を爲し歸國すべしと(北京特電)

◎支那形勢の觀測

宗社黨は青島に在る恭親王を推して滿洲の獨立を企圖し張勳は武力解決を唱へて南方政府を威嚇しつゝあり段祺瑞亦兵權を捨てざる結果支那の形勢は漸次紛糾の度を増すのみにして南北妥協の成立は容易ならざるべしと觀測さる(東京電報)

◎東淸買收進捗か

哈爾賓訪問中の中村關東都督歸任せるが其結果東淸鐵道買收に關する協定大に進捗せりとの報あり(東京電報)

◎滿鐵配當額

南滿鐵道會社前期株主配當額を八分とし政府配當額を二百五十萬圓に決せりと(東京電報)

◎三黨覺書實行如何

三黨首領間に交換せられし覺書は本月末より實行に著手し各黨代表者會同の上調査の歩を進むる事に決したりと傳へらる(東京電報)

◎海軍々務局長

海軍少將小栗孝三郎氏は海軍軍務局長に任命せらるゝ事に内定し近く歸朝を命ぜらるべしとの説あり(東京電報)

◎水害と植付

足立東拓殖産課長は十七日出發湖南地方水害調査の爲め出張する由なるが其の談を聞くに情報によれば平野の浸水は全北を最とし忠南全南之れに亞ぎ居るに似たり目下同地方の挿秧は約五分方終了に過ぎざるものゝ如ければ既に植付けを終れる地方は三日以上の浸水に會はんか稻苗の腐蝕を來し其の損害少なからざるべし離植付水田稻苗の廢物に歸するも新らしき苗あれば必らずしも憂ふるに足らざるが其の有無が予等の懸念に堪へざる所なり

◎出水と漢江架橋工事

漢江の増水に對し目下工事中なる龍山より鷺梁津に通ずる京仁街道閒の同江架橋工事狀況を聞くに本流に對しては豫め雨期の出水を慮りて未だ橋脚工事に著手せざるを以て何等の故障なく又た支流は既に橋脚の組枠を沈下したれど此處は流水緩漫なるのみならず一部にはコンクリートを打ちたれば多少の土砂を蒙りたるものゝ如きも工事に對して支障を來すが如き憂なく其他の作業場は降雨と共に安全なる個處に引き上げたることとて是れ亦何等の被害なければ本工事は減水と共に直ちに復舊、其進捗に努むべしと

◎献穀齋田は無事　京畿道富川郡梧柳洞小峰源作氏の耕作中なる献穀齋田は前日來の出水により附近多數の耕地は被害ありたれども同献穀田は何等の異狀なしと

◎道府當局罹災者慰問　松永道長官及び金谷府尹、有賀内務部長、石原事務官等は龍山水害地視察の爲め十六日午前龍山に向ひ實地を巡視し罹災者を慰問したり

◎金融組合會同(第二日)

地方金融組合理事會同第二日は前日に引き續き十六日午前九時より總督府第二會議室に開會、關係各部長官、局長、課長等出席し荒井長官統裁の下に直に日程に入り午前は諮問事項の答申、午後は事務打合せありて三時散會したり

◎定例長官會議　十六日は定例長官會議日なるより寺内總督、山縣政務總監以下各部長官、局長は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

◎勝田總裁開城行　勝田鮮銀總裁は島雄秘書役を隨へ十六日午前九時十分南大門驛發開城に赴き即日歸京せり

◎野田副總裁歸期　目下福岡に滯在中の野田東拓副總裁は十七八日頃歸京すべき旨通知ありたり

◎寺西軍醫監歸任　西鮮地方へ出張中なりし駐劄軍々醫部長寺西軍醫監は十六日朝龍山著歸任せり

◎庄田大佐踏査旅程　土地調査局囑託參謀本部製圖課長庄田工兵大佐は十二日朝釜山上陸以來鎭海馬山を經て慶州方面に向ひ地形測量狀況を實査中なりし所十六日夜入京龍山に滯在の由なるが四五日閒調査局と事務の打合せをなし更に北行して京義沿線各地の踏査を行ふ由

◎松永道長官歸任　十三日以來松永京畿道長官は時永事務官大塚學務主任等を隨へ仁川府の視察中なりしが十六日午前歸任せり

◎人見課長送別會　總督府農商工部農務課長人見次郎氏渡歐の爲め總督府並に所屬官署高等官有志は二十日午後七時より千代本に送別會を催す

◎長野縣人と伊澤氏　京城在住の長野縣人は目下入京中なる貴族院議員伊澤修二氏の歡迎を兼ね來る十八日午後六時より明月館に於て縣人會を開き芳々親睦を計る由にて出席希望者は十七日迄に本町二丁目提重四郎氏宛申込むべしと

◎露貨復下落す

日滿聯絡貨物引換代金換算率中東淸及び烏蘇里線等の場合は六月十五日以降當分の内日貨百圓に付き露貨百七十一留となれり從前に比し三留の下落なり

■總裁を迎へて　一記者

○東拓總裁吉原氏十五日夜歸京すと云ふので、其日午後七時五十分南大門驛發列車にて南に下る。

○始興と安養驛との間の安養川が激流に洗はれて、鐵橋が歪み、汽車は直通不能となり從歩連絡をする、その現場までは行けるので、始興の先きまで乘る。

○安養川といつても幅は十間を超ぬ小やかな河であるが、大雨の後の奔流は岸まで汪溢して水勢物凄く、橋桁は傾むき軌條は曲つて居た。數十の工夫は懸聲勇ましく、假橋工事の杭を打ち込んで居た。圓い月が靜かに而かも皮肉に白い光を投げる下を、南北より兩岸まで來り停まつた列車から無理やりに吐き出された旅客は心細さうに危な氣に橋板を辿つて車に乘り移つた。

○吉原總裁は二宮秘書役を隨へて南大門行の列車に乘る。總裁の鼠色の脊廣姿が珍らしく感ぜられた。病後だと聞いたが別に痩れも見ねず、顏も色づいて居たので、如何ですと聞くと『イヤ、病氣は少しも快くはなつて居ない、熱は今でも少しづゝある、顏の色は千葉の海岸の日に燒けたので』と答へる總裁の聲は著しく嗄れて居た。

○敢て總裁の心事を問ふは此場合の禮に非ず。記者は『内地と異つて京城の空氣では今後の御健康に宜しくあるまじ、何れ御轉地が必要でしようが』と云へば總裁は輕く笑ひ乍ら『左樣、軈て今度は寛くり轉地をする事になるでしよう』と。此の一言は記者に無限の感慨を與へた。

○車中總裁の談は專ら歐洲戰局に渉り、隨分元氣ある進取的意見も聞かれた。斯くて列車の南大門驛に著いたのは十一時二十分、定時に後るゝこと正に二時間餘、驛には林、井上、村田、各理事以下社員多數出迎へ、總裁は靜かに挨拶を交しながら、是等の人々と共に貴賓室の玄關を出た。雲の斷れ間より洩るゝ月の光は淡く風はさすがに冷たかつた。

仁川

▲商議評議員會　仁川商業會議所にては十六日午後二時より評議員會を開會し松永長官歡迎會の件に付き協議すべし▲取引所の献金　仁川米豆取引所は今回明治神宮奉賛會へ金二百圓を献金せり▲松永長官出發　來仁中の松永京畿道長官は仁川郵便局其他二三個所を視察し零時四十分仁川驛發にて歸京した

開城

▲挿秧　開城附近の田植は殆んど全部終了し當豐德邑内附近及び領井浦附近は目下田植の最中なり▲萩原理事　開城地方金融組合萩原理事は十四日より公務を帶び當豐德郡内各地に出張せり▲開城新報發展　開城新報は擴張準備のため本月初より休刊中なりしが此度新に高野夢星、武中紅雨の二社員入社擴張の準備成り本月十八日より發刊の筈なり

大田

▲自動車出願　大田にては從來公州其他各地に向け自動車を運轉し交通の便を計り居たりしが時期尚早なりし爲めか收支償ひ難き結果一時中止の已むなきに至りしが今日の狀態にて自動車なきは不便至極なりとし加茂、神木兩氏發起となり儒城、公州、錦山等各地に向け自動車を運轉し交通の便を計るべく其筋に出願せり▲議員選擧　大田學校組合議員は十名なるが内荒瀬長重氏は辭職し内藤氏は管理者となりし爲め自然消滅したる缺員二名に對する補缺選擧を來七月四日事務所に於て行ふ筈なり▲苹果奇病　大田白石農園其他に於て昨年來苹果に奇病發生し水原模範場より中田技手の特派を乞ひ實地檢病せし事は既報の如くなるが其後聞く所に據れば同技手の熱心研究せるに拘らず未だ其病原發見に至らず大田よりは度々害果を送り居たるが或は病菌病にあらずして地方的氣候病にあらずやと云へり兎に角尚研究の餘地ありと▲理事會議　大田實業協會にては發表と同時に市民の歡迎を受け入會者續々あるを以て廿日頃第一回總會を開く筈にて其準備の爲め兩三日中に辻副會長宅にて理事會を開く筈なりと而して理事中辭表を提出せしもの三四名あるを以て總會の節是れが補缺選擧を爲すべしと

大邱

▲穀物組合新築落成　慶北輸移出穀物改良組合にては去日來道廳敷地内にて同事務所新築中の處愈々落成を告げたれば十七日正午十二時より新築事務所に於て披露宴ありたり▲商會評議員選擧　過般認可の指令に接したる大邱商業會議所は去る十二日大邱府廳樓上に於て創立總會を開き協議の結果愈々廿二日評議員選擧を執行する事に決定せしが評議員數は内地人十六名鮮人四名合計二十名なりと▲浮石寺修築決定　慶北榮川郡浮石寺修築に就き過般岩井總督府技師吉田慶北事務官、木村慶北道書記出張調査の結果大雄殿及び祖師堂は土臺より掘返し根本的に修繕を加へ高麗時代新築當時の原形に復せしむる事に決定し工事著手は八月中旬頃なりと

西碧里

▲民情　慶北西碧里は奉化郡の北部にあり江原道に界し民情素朴愛すべきものあり里は僅かに七十六戸四百人餘憲兵派遣所ありて民心敎導に努む管内戸數千二百四十四、人口六千九百五十一▲職業別　農業本位にして機化少なく派遣所管内職業別、旅人宿二十五飲食店十商業九農業一千百九十九

釜山

▲吉元久藏氏榮轉　朝鮮鐵道局營業課釜山派出所員吉元久藏氏は今回大田驛長に榮轉し其の後任として大田驛長本榮一氏著任すべし▲田中事務官歸任　藤澤參政官見送りの爲め十四日來釜せし田中總督府事務官は通譯生田中德太郎氏と共に同夜藤澤參政官を埠頭に見送りたる上午後十一時發の急行にて歸任したり▲藤澤參政官　藤澤内務參政官は内務屬山田英吉氏を隨へ十三日馬山、鎭海を經て午後七時東萊温泉蓬萊館に投宿し翌十四日午後三時半頃釜山に到著の上府廳並に商業會議所を視察し午後五時より鳴戸に於ける若松府尹の晩餐會に臨み同夜八時三十分發の連絡船にて歸東したり▲堀井氏へ記念品　釜山官民有志は前釜山驛長堀井儀作氏に對し記念として十四日金時計(金鎖共)一個を贈呈したり▲内鮮有志協議　明治神宮奉賛會に對する献金の爲め十四日午前十時より朝鮮人の有志は府廳に會合し協議の結果金一圓より三十圓迄の範圍に於て一般より献金せしむることに決したるが釜山府内の有志も亦た十六日午後一時より府廳樓上に會合し献金募集に關する件の協議をなす▲野澤分隊長巡視　野澤釜山憲兵分隊長は管内狀況視察の爲め十五日密陽梁山兩郡へ出張せしが廿日頃歸任すべし▲山本副會頭隱退　釜山商業會議所副會頭山本純一氏は今回養嗣子賴之助氏に財産全部を讓ると共に一切の公職と關係を絶ちて隱退したりと▲釜山商議選擧　釜山商業會議所にては去る十五日午後二時より同處に於て發起人會を開きたるが出席者七名にして花輪書記長より其の經過を報告したる後議員選擧期日を協議せしが其の結果來る二十二日を以て選擧を行ふこと、決定し其れより選擧委員を選擧せしが委員長には迫間房太郎、又委員には武久捨吉、福島源次郎、石原源三郎、李圭正の五名當選し午後四時散會せしが今回の選擧には候補者案外多き模樣なれば從つて競爭亦た激烈なるべしと觀測さる

鎭海

▲人事消息　要港部參謀長伯爵佐野海軍大佐は十日より開會さるべき海軍省各艦隊鎭守府要港部參謀長會議に列席のため目下上京中にして先日來賜暇歸省中なりし富安機關大佐も亦引續き各艦隊鎭守府要港部機關長會議に參列の爲め滯京中なり又た鎭海警察署警部太田愛五郎氏は全羅南道唐津警察署長に榮轉し十六日頃出發赴任すべし東京實業家にして鎭海に多くの組合共同家屋を所有せる大田衞氏は二三日前來鎭目下松芳旅館に滯在中なり▲熊川道路起工　鎭海より昌原に通ずる道路開鑿工事は道廳にて設計に著手本年度秋頃より本年度に跨る繼續事業として著手せしが鎭海より更に熊川に通ずる道路も愈々今秋より起工の手筈にて工費約二萬圓を支出すべき計畫なりと▲毛蟲の蔓延　要港部、學校組合、總督府の用地は固より兜山公園の松林に至るまで被害尠からざるより此頃は要港部にても總督府にても學校組合にても之が驅除法に熱中し共々著手中なるが其人夫一日數百人を數へ一升三錢位の賃金にて捕獲しつゝあり一日の捕獲量數十石に上り例年此頃飢餓に瀕せる鮮人の之が爲めに食料を得るもの頗る多數なり

安東縣

▲昨今の木材界　採木公司に就て聞くに本月十四日迄に到著せる支那料筏は一千百二十三臺約四十二萬連にして其内賣買取引濟となれるもの四百六十三臺十七萬四千九百二十二連採木公司の直營材たる長白府分局流下の製材用紅松杉松落葉松丸材は約一萬二千本落葉松電柱其他の丸材は約一萬本の到著を見是等は六道溝貯水所掘割内に集積中なるが目下日々五六十臺宛の著筏あり公司は之が檢査に忙殺され居れり市價は紅松上物にて一千二三百寸見當のものは二分二厘以上を唱へ杉松は稍氣配惡しく同寸のものにて一分二厘乃至一分三厘を唱へつゝあり▲郵便局竣工期　昨年來新築工事中なる安東郵便局新廳舍は本月末を以て全部竣工を告げ七月上旬工事請負者より監督官へ引渡しを了し直ちに移轉準備に取掛る筈なるが今回新に購入されたる電話交換臺の据付其他に多少の時日を要す可ければ愈々新廳舍に於て事務取扱ひを開始するは八月上旬頃となる可し▲佐藤警務總長　佐藤都督府警務總長は管内甲種巡閲の途次來る二十六日頃來安す可し▲討伐隊の出動　莊河縣附近不穩の報頻々として到るを以て當地駐屯の巡防兵約五十名は十四日同地へ出動せり

三道横斷記　(醴泉より)　上田 獻

▲忠北丹陽と慶北道を界するは太白、小白山脈の餘波なる標高二千七百尺の竹嶺なれど此附近の國有林は深邃幽遠の趣きなく總めて凡々たり山荒れ川推し然れども兩道の交通頻丈けありて道路は次第に良く竹嶺を超え慶北に至れば又見紛ふ程に路面の坦々たるを見る可し殊に一驚するだに心地よきは共同墓地の整然たるにあり豐基は内地人三十三、鮮人八百六十の小都市同じく頭石熟盛にして邑の背後に見る一▲隱岩に郵便出張者三十六名ありとは聞くだに呆然たらざるを得ず▲豐基分遣所に靈實を結び服部警務部長及び天納君は榮州に余は部長の好意を謝し惜しき別を告げ此處より自動車にて醴泉に走らんとす時に七日午後三時▲三十日以來九日間時を費やす二百十六時間行程六十餘里而も鬼の圍たてふ江原の深林帶を横ぎり忠北に至り慶北に歸り來した同間の親切さを感謝せざるを得ざると共に如何なれば一に服部警務部長の好意と沿道警務官憲の親切なる深山幽谷の間にも王化洽く施政の注意行届き思ひしよりも安心の情禁ずるを得ざるものありき▲幾度か疲れる一行の觀顔を顧うて只管自動車を走らす顧れば竹嶺の烽火臺は忠北を鎭し太白、小白の連峰遙に碧波が落ちて淨化曠國の連山に抱かる▲此月雨降らざるに醴泉に著し吉田事務官、岩井、木村氏の浮石寺行に分し翌八日再び自動車の便を借り金泉大邱に歸る雨降りて疲れる一行の幸や如何に―(完)

人事消息

▲宮崎又次郎氏(江原道第二部長)　入京中の處十五日朝退京
▲川守康一氏(久原鑛業技師)　入京中の處十八日朝退京
▲石黒潤一郎氏(岡山縣醫士)　入京中の處十六日夜退京の豫定
▲高藤治氏(八幡製鐵所技師)　十五日夜入京天眞樓へ
▲菊池常作氏(大邱醫醫士)　十六日朝入京不知火旅館へ
▲國臣東拓土木課長　黃江道水害地に於て工事中なる堤防の視察の爲め十六日同地へ出張
▲入見次郎氏(農務課長)　二十二三日頃東京に赴き七月十四日歸任直ちに渡歐す可し
▲齋藤氏(平壤醫醫士)　十六日入京喚醒旅館へ
▲臼井水城氏(開城醫醫士)　同日入京
▲豐田四郎氏(土地調査局技術課長)　母堂出迎への爲め泉州へ歸省中の處十四日歸任

水害地夜行記　三好生

▼十六日朝著釜の東京相撲と會すべく十五日夜南行の途中より一筆啓上仕候。漢江の増水は可なり多く第二漢江附近一帶及び、鷺梁津に至る迄れる曠漠たる砂洲の全部を掩ひて滿々な深々、江上一面濁水ながら滄浪として渡靜なる所、宛さして潰名湖に似たる景色に御座候。

▼永登浦より安養驛列車乘換場に至る沿線は、畑となく水田となく所々出水して、鐵道線路に併行せる道路亦多く溢水しつゝあるを見受申候

▼始興驛を離れたる南行列車が中橫索の形ちにて徐行しつゝ安養手前の鐵橋故障の現場まで辿り著きしは九時五分前、橋一つを隔てたる對岸には釜山より來れる列車が停まり居り、茲に互に車を棄てゝ乘り換へ申候。相互の列車より列車に至る一丁弱の徒歩を餘儀なくされ候へども、橋上と雖も道幅廣くして設備完全、婦人老幼の渡行に些の危險を感ぜず殊に復舊工事假事務所には鐵道局より技師二名技手十數名の外係員多數出張して復舊工事に努め居られ旅客の連絡を督し居れば旅行者に取つては僅少なる時間の空費以外に何等の苦痛無きわけに候。

▼茲に面白きは工事場及び連絡所の光景にして、炎々として燃ゆる篝火、煌々と燦く提灯、盛る焔は慘たる水害地を照射して晝を欺く明るさ、之れを遠くより望めば内地に於ける夜祭りにも似て、工夫人夫の呼ぶ音頭、調子の聲に應じて閑寂を破る群蛙の聲と共に滅多に見られぬ野趣の溢れ居る事に御座候

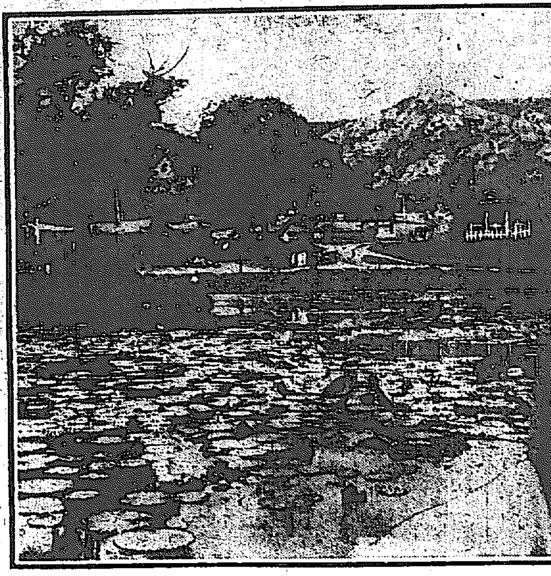
▼列車の著く毎に提灯を携げ又は隊を成して汽車見物に出で來る鮮人の多きには奇異の眼を見はり申候十時二十分新らしき南行列車は運轉を開始致し候。(水原にて)

雨中過開城　和田天民

入窓松嶽樹、懸思滿月臺、空綠草荒千載、雄魂喚不起、落花如雨雨如絲。

車中所見　同人

同化斯民業、歳過治柔之、幾族於核蒸風、五月楊州路、山郭水村喜色多。



蓮……西大門外天然亭……

●管絃樂を聽召さる
皇后陛下芝離宮へ行啓

昭憲皇太后御在世當時は古樂御奬勵の御思召を以て管絃樂を聽召されたるが現皇后陛下亦先太后の懿旨を御繼承來る十六日午後一時三十分宮城御出門芝離宮に行啓鍋島直大侯、同夫人、榮子刀自、大宮以季、藤井行德、唐橋在世各子爵、大原重明、金子有道、樂長芝葛鎭、林廣繼氏其他を御召しの上管絃樂を聽召され畢つて參苑の諸員に對し酒饌を賜はりたり當日御催されたる管絃樂曲目は平調「音取」「催馬樂」「伊勢海」「三臺鹽急」「越天樂」「殘樂」「朗詠」「嘉辰令月」「林歌」等なりしと（東京電話）

●袁氏の遺產一億圓
遺族は獨逸に地所を買ひ求む

天津駐屯軍々醫長より岡山聯隊に轉任せる田村二等軍醫正は宮中丸にて門司に上陸したるが往訪の記者に語つて曰く『去二十三日袁總統に謁見せしに面貌非常に窶れ淋しき微笑の裡に余を迎へたるが語尾に力なく容易ならぬ病の潛める如く見ゐたるより膠州灣に歸りてより戯れに『袁氏の顏色を見れば衰弱甚だしく死期迫り居る如くなれば一箇月は保つまじ』と語りたるに幸か不幸か適中せり袁氏の遺產は一億八十萬圓と云ひ或は一億圓と區々の說あり六十名の令息と妻妾は袁克定の名義にて獨逸に地所を買求め居るとも聞けば同國に逝くべしとの風評あり天津には騷動、馮國璋其他各國の租界に邸宅を建て多數の家族を始め紳商の家族避難し一階を間借して四五家族も住み一の空家なし斯て生命財產不安を極むるの際我駐屯兵增派は各國人も支那人も共に喜び居れり』と（門司）

●我派遣隊天津上陸
各國人士拍手喝采して迎ふ

柳樹屯步兵第二十一聯隊第一大隊長鶴島少佐の引率せる一部隊は北京天津に於ける居留民保護及び治安維持の任務を帶び去る十日午後一時御用船天潮丸に搭乘十二日午前六時天津佛租界大阪商船支店前棧橋より上陸▲鶴島大隊長 指揮の下に行動を開始し天津街上始めて進軍喇叭の音を奏するや各國人士及び我官民の出迎者は一齊に拍手喝采を以て迎へたり北京天津不穩の際武威赫々たる日本軍隊が增派されたる事とて天津各國租界よりは何れも其の威容を見んと早朝より白河々岸に多數集りて待受けたるが上陸せる▲我が兵士の行動 が規律正しきに感嘆の聲を發したり然るに遼陽工兵隊は營口より前日天津に上陸し居りたるより支那官民は一師團の兵來れりなど噂せり今後鶴島隊は天津に止まるか或は北京へ進發するか既に天津駐屯軍より一中隊は北京に送られあるを以て北京の模樣急變せざる以上多分▲天津に駐屯 すべしと御用船天潮丸は十二日午前七時全部の揚陸を濟ましたれども御用船の爲船員の上陸禁止され午後二時天津を解纜して十三日午後四時大連に歸港したり行動は一切秘密なるも天潮丸は十四日頃柳樹屯に向ひ軍隊及び軍需品を積載して十五日頃柳樹屯を出帆し再び天津に向ふべしと（大連）

●上海の特別戒嚴令
軍艦は探照燈を照射して警戒す

袁氏逝去の公報七日午前七時始めて著するや淞滬軍使楊善德は直に特別戒嚴令を發し秘密の間に各軍隊をして龍華の護軍使署附近一帶は勿論製造局及び其附近各要道を警備せしめ午後六時以後は一切行通を遮斷して異狀の嚴密を極めたり又吳淞砲臺は護國軍副使盧永祥より要塞司令陳照に命じて砲臺內の守備を嚴ならしむると同時に附近淞滬鐵道各驛江灣鎭、眞如鎭等各地には永祥部下の軍隊を增派して不時の變に備へ又吳淞口外碇泊の各軍艦は夜間探照燈を照射して警戒し警察の巡邏隊は廳長、徐國梁より直ちに各所警察に傳達して管區內の秩序維持に努めしめつゝあり（上海）

●相撲氣分が漲つた釜山
東京大相撲の乘込み

鮮滿巡業東京大相撲一行が十六日の朝半島の表玄關たる釜山に乘込みたる景況は物々しく亦素晴しいものであつた折よく當日は夜來の豪雨全く止み水天一碧拭ふが如き好日和とはなつた、二年振の大相撲の來鮮は一行の到著前から既に▽市中の人氣 を極度までに昂騰させて居つた一行を乘せた連絡船高麗丸が漸く內に姿を見せた午前八時三十分頃から巨人の群を見んものと夥しき群衆は既に棧橋に人山を築いて押分けも成らぬ程であつた船がだん／＼と棧橋に近寄つて來るのを見ると[illegible]の對馬洋、源氏山、紫雲龍、宮城山、四海波、稻葉嶽、逆鉾、龍ヶ崎、國ヶ岩、一溪以下東西の十兩力士、及び待乳山、岡武の松、境川、其他の協會役員、行司式守鍋太夫、木村左門一行の二百餘名は上甲板上に[illegible]ほつれ毛を潮風に吹かせながらズラリと▽並んだ威容 は實に堂々として港頭を壓するの感あらしめた、軈て高麗丸の徐に棧橋に近附いて來ると棧橋では「ヤア居る／＼ツンと大きなのが澤山に居るワイ、あんな大きな男ばかり乘つけて來た高麗丸は定めて重かつたとらう」などゝ動搖めき合うて居る間に船が棧橋にピツタリと著いてブリツヂが下るや否や釜山の勸進元吉野庵主人其他の出迎人は一齊に甲板上に入り込み▽久し振りの 挨拶やら何にやら云ひ交はして居る間に對馬洋を先頭に[illegible]荒くれ男は牛の樣な鯨の如うな巨軀に大きなトランクや[illegible]などを[illegible]一行の中で特に衆目を惹いたのは[illegible]一齊に此の▽大佛の立像 に向かつた其の後に小相撲連貧乏神などがゾロ／＼と小さく成つて「ハイ／＼化け物のお通り、除いた／＼」と自棄を言ひながら人波を掻き分けて棧橋を出て其處に待つて居る各割當て旅館から迎へに來て居る車に乘ると見物人の山は總崩れになつて其の後を追うて行くのであつた、場所は大廳町の鐵道ホテル敷地に建てられた市中の各商店又は大相撲觀覽券を賣る▽看板が一面 に張り出された[illegible]

●漢江漸次減水
新舊龍山被害

龍山に於ける漢江は十五日午後に至り尙も增水し午後四時二十六尺五寸に達し其れより午後十時には三十尺に及び翌十六日午前一時の三十二尺に達し是れが絶頂にて午前七時には二十一尺四寸に減水したるも亦々上流地方の豪雨にて十六日正午には三十尺午後二時二十九尺を示せり舊龍山にて午後十時過迄に旭川堤防一部決潰し逐次增水して十六日午前一時前後は最も甚しかりしも其後漸次減水したり新舊龍山に於て十五日夜來浸水の災厄を被りたるは二村洞八十戶、西氷庫二十戶、麻浦百六十三戶流失一戶、舊龍山榮町十三戶、元町四丁目三十戶、桃花洞五十八戶、此他に麻浦及び桃花洞の空家に浸水したるもの若干にして新町に於て鐵居二戶流失したるも人畜に被害なし

●瓦斯故障復舊

十六日午前五時頃舊龍山を除く外京城及び新龍山全部瓦斯の供給杜絕せし其の原因につき會社當局の談を聞くに早曉漢江大出水氾濫の爲め新舊龍山の中間たる鐵橋附近の家屋二戶濁流に押流されたるより其の家に供給せる一時の瓦斯管切斷し其の口より十四時の本管に濁水浸入したる爲めにて故障發生後會社は工事に全力を盡せし結果正午十二時無事復舊せしが損害は僅少なりと

●湖南本線全通

湖南線長城松汀里間の浸水せる箇所は復舊工事竣成し十六日木浦初發列車（午前六時卅分木浦發午後三時四十五分大田著）より通過せしめられしと何裡里芙蓉間は甚だ數箇所により て線路上二尺乃至五尺に及べる所あり築堤流失せるもの半哩餘に達せる箇所あり未だ復舊の模樣なし

●京釜線の復舊

京釜線安養始興間の安養川鐵橋故障箇所復舊工事は增水依然たれども幸ひ雨歇みたるより工事進捗し假橋架設見込立ちたるより十六日五列車（午前十時三十分釜山發、同九時南大門著）より假橋通過の豫定なり

●警務部長以下出動

警務部長は消防主任小熊警部以下を伴ひ前日より引續き十六日も龍山に出動し防水工事を指揮督勵せり

●連絡船に接續せず

十五日午後七時五十分南大門發釜山行急行列車は安養川徒橋の爲め安養假驛に於て時間延著を生じたる爲め二時間延著し出發したる釜山著連絡船には接續せざりき

●各地水害

▲耕地と作物 京畿道金浦郡內に於ては橋梁五、暗渠四、破損し耕地浸水五百町步に及び麥、陸稻被害多し目下調査中なり橋梁墜落の箇所は渡船にて交通連絡を取りつゝあり揚平郡の管內に於ても被害尠なからず其の程度は目下調査中なり此の外安城街道に於て二十箇所の被害ありたり

▲元山街道 議政府京城間の元山街道凡三百間浸水し水深三尺乃至四尺に及び交通杜絕せり議政府抱川間暗渠六箇所破損し橋梁補流失し同流失假橋長二十一間一箇所道路六箇所缺損約五百間道面に浸水したり

▲五里津線 加平邑より道界間の道路缺損數箇所あり淸平川加平間の道路缺損七箇所あり高陽郡管內に於ては神道面九把撥里耕地浸水約五町步に及び堤防二箇所流失せり龍江面東幕にては浸水戶數七十七戶に達せり同面穀前里浸水家屋五十戶延禧面楊花津浸水戶數二十七八戶の見込なり

▲纛島附近 往十里停車場より東拓出張所及び模範場附近一體に浸水約四百町步に達し模範場果樹園も約四五町步浸水せり長安坪開墾地は目下の處無事なるも開墾地內に溜水充滿し目下麥の收穫時期に迫れるを以て地方農民は恐慌し居れり、纛島の浸水せる家屋は百五十戶に達せり、纛島に於ては萬一の用意の爲東拓出張所及び移民部落に船各三艘を配置し消防手を附添はしめあり又模範場及び他の移民部落に對して何時にても避難し得べく用意濟なり六月十五日午後十一時に至り纛島は水位二十尺餘浸水家屋百五十餘戶に達し避難を要するを以て取敢ず之を學校其の他の高地に收容したり

▲交通全く杜絕 京畿道廣州郡にては十四日より漢江漸次增水し十五日午後五時半に至り同郡三牌里に於て二十六尺の增水を示し附近一帶頗る危險に瀕し松坡鎭憲兵派遣所員は徹夜總出にて消防組、里民等百七十名を指揮し應急工事を施したるも同日午後八時には二十八尺の增水となり遂に松坡里に浸水したるを以て渡船用の大舟四隻を以て取敢へず二十戶の避難民を救助し各地との交通全く杜絕したり而して床上浸水十六戶、床下浸水四十戶田地の浸水したるもの四千町步に達して一面の泥海と化し損害見積一萬數千圓に達すべしと尙十五日午後五時半頃石村里より松坡里へ向ふ途中鮮人乞食一名溺死し居る屍體を發見せり

▲堤防決潰 始興郡永登浦にては十五日午後三時頃より漢江の溢水漸次浸入し始め午後八時頃には仁川道路を洗ひ危險の狀態に陷りたるより同地警察署にては消防組を召集し堤防の應急工事を施したるも十六日午前五時遂に堤防決潰し滔々たる濁水は市街部落に浸入し內地人七戶鮮人二十戶浸水するに至りたるも人畜に死傷なし

▲假橋の流失 十五日來の降雨の爲め慶北各地に於て出水甚しく同日午後四時迄の報告によれば榮州七五耗、尙州九三耗、永川四三耗の降雨にて醴泉郡醴泉江六尺五寸洛川江は六尺の增水假橋全部流失交通杜絕の狀態尙增水しつゝありと

▲湖水と化す 十三日以來の豪雨は十四日夜まで間斷なく降り續き美湖川本流及び支流とも氾濫のため沿岸の田畑浸水數百町に及び烏致院の東南北は全く一面の湖水と化し附近農民頻々として避難しつゝあり又公州方面は辛うじて郵便物だけ錦江橋を渡し遞送し居れり自動車は淸公州とも交通杜絕し復舊の見込み立たずと

●戰爭と民族
東北大學教授　八田博士談

二、戰爭は一種の民族運動に他ならず

生存の必要から共同作業を取る、茲に歷史が生れて來る歷史は更に民族の結合を强ずる玆に始めて民族さして自覺と云ふものが生れて來る自己生存の必要から民族の結合と云ふ事が非常に大切に成つて來る自分及び自分の祖先の働いた

□□歷史が無上に尊い□□

と云ふ觀念も起つて來る自己の歷史を擁護し更に之れを紛飾し光輝あらしめようとする心持は期せずして民族の心理に萌芽して來る斯くの如くして發達したる民族は遂に國家を成し甲倒れて乙興り極りなく盛衰の歷史を操り反して居るが波瀾曲折を重ぬれば重ぬるに從つて民族の歷史が複雜となり其の感情は濃厚となり

□□民族生存の必要□□

上偉大なる働きを惹き起す戰爭は卽ち之れである故に戰に際しては各民族の特長能力の有らん限りを發揮し恥も外聞も厭はぬと云ふ事になる、戰爭は一種の民族運動に他ならず又民族思想は益々發達して行くものとすれば玆に大いに民族研究の必要が起つて來る民族研究の最も發達して居るのは露西亞である寃に角

□□露國は六七十種□□

の民族を包容して居るから到底單一の法律で治めて行く事は不可能である、爲政者は深く各民族の由來、則ち歷史、風俗慣習言語等の比較研究を爲して居る之れが爲めに露都には皇室及び國家が經營して居る宏大なる民族博物館が三つもある露國人はこれに由つて國內各民族の心理、風俗等に對する智識を得て居る日本でも是非此の

□□民族博物館が欲しい□□

のであるが然らばその博物館は何處へ置けば好いかと云ふに東京にも勿論必要であるが最も便利であるのは朝鮮であらうと思ふ實に朝鮮は各民族生活の資料を蒐集するのに最も好都合の位置に在る日本海を圍繞した沿海には十八種の人種が住んで居る之等の民族研究や其の日常の生活に要する器物等を集めるにはどうしても

□□朝鮮を足場にして□□

掛らなければならぬ、民族博物館は國家の經營でも都市の經營でも宜しいが成るべく廣く深く民族の由來に突き入つて其の誇るべき歷史を蒐集し保存すると云ふ事は大切である

書畫骨董定期賣立
下見六月十七日晝夜共六月十八日午後七時迄同七時より賣立
京城南山町三丁目　佐々木榮古堂　電話貳貳參番

◎盆栽展覽大會と與柏入札 明治町米[illegible]拓植博香園に於いては十七、十八日の兩日京城一般同好者の出品に係る盆栽展覽大會を開始[illegible]同十八日には長白山より採集し來れる與柏の[illegible]行入札會を執行[illegible]する筈なるが何れも斷道の大家よりの出品多く非常なる盛況を呈するならん

●雇女は强者

慶南金海郡金海面東上洞旅人宿濱田勇太郎は客月[illegible]在に乘じ銀側懷中時計金の指輪其他[illegible]雜品數點と滿圓四枚円前一枚現金廿五圓を[illegible]百圓の交附を請求したるに依り某商店よりの請求と信じて之に金六百[illegible]

◎[illegible]所を[illegible]入に[illegible]せられて引き[illegible]署に突き出さる

[illegible]助、土谷憲次郎、片山庄吉、吉住正三、近藤けい、二宮壯、稻葉熊三郎、柴田宗治、飯島置二、岡友子[illegible]百七十八名

十五日夜入港者博多丸二、二等客[illegible]

[illegible]宮崎けい子、山口とく[illegible]

天氣　曇後晴れ　▲六月十七日[illegible]

金牌受領
[illegible]大博覽會
最もよき髮油
本舖東京井善製
[illegible]油
皆さまが、毛髮についてお望みは黑くて艶があり癖がなく、そして濃く長ければ良いのでそれには同より[illegible]をお使ひ遊ばせ
御滿足を必らず得られます
支店　大阪南久寶寺町四　藤森源之助

謹啓
今般平壤商業會議所評議員選擧に際し多大なる御同情に依り當選仕候段厚く御禮申上候敬具
大正五年六月
（イロハ順）
平壤旭町　奥田延之助
平壤南門町　脇坂喜之助
平壤大和町　毛利辰次郎
平壤大和町　森本義高
西鮮造林會社　大橋恒[illegible]

大阪堂島米穀取引所仲買人
定期米賣買
入丁今井延太郎[illegible]
營業所（堂島濱壹丁目）
[illegible]

謹告
漢江洪水の爲め漢江通十五番地附近需用家々屋流失引込管に損傷を生じ今朝五時より京城龍山一圓に對し供給不能と相成誠に恐縮に不堪候右は全く天災にて不得已次第に候間何卒御諒承被成下度此段謹告候也
大正五年六月十六日
京城電氣株式會社

…金を掴き上げつゝありしまでは宜つ[illegible]たが本月十一日正午頃主人潮田の不[illegible]

●六百圓の詐欺 去る十二日[illegible]釜山南濱の岩崎某方に鮮人來り金六[illegible]署に訴へ出でたりと

●復活して來た 草根木皮

□朝鮮の野にある草□ □吉木藥劑官のお話□

□私共の少年の時は風邪をひくといつも葛根湯といふのを飲むで治した、葛根湯はぼうふう、ぶくりう、かんぞうなど四五種の漢藥を煎じたものだが藥師如來以來の妙藥で今のアンチヘブリンと同じ効力がある

□それからよく婦人などの用ゐる大藥子はこれまた健胃劑としてむかしから用ゐられまた犬蓼も虫殺しとして重寶がられて居る

□猶ほ朝鮮に多きげんのしようこは痢病の妙藥で下痢には名の如く現の證據を見せる此の藥草は夏期梅に似た花を開き別名を風露草、神輿草、鬪牛兒、ねこあしぐさ、うめづる、はなうめばちなどと云ふ

□煎じて服用すると下痢には非常によく利く藥草である

□其の他朝鮮の路傍に生へた雜草の中にも藥用として用ふべきものは非常に多いのであるが道回中央試驗所の衛生試驗部が出來たからいろ〳〵經驗ことが發表せらるゝであらう

□維新以來洋藥〳〵といふので漢藥はあまりに莫迦にされた傾きもあるが草根木皮と雖も決して輕視されたものではない

□假令分析の結果その有効精分が發見されないものでも服用すれば立派に有効なものが尠なくない

□むかし醫業の發達せざる間は病氣に罹つた人は何れも手近の植物で藥を作つたものである

□これが眞當の天の配劑といふのであるが考へて見ると世の中の植物と動物とは常に相互に助け合つて居るのである

◉薔薇の會

…白耳義寡婦孤兒救濟會…

憐れな白耳義の寡婦孤兒救濟會はいよ〳〵十七日の午後二時半から催されます、會場は旭町府邸裏の白耳義領事館、お庭の涼し相なアカシヤの樹陰に紅白の薔薇が咲き亂れたあたりには李王職雅樂隊の奏樂や錦前琵琶の彈奏などがあり非常に美しく樂しき會でございます、賣店係りは石塚、國分、杉山、鈴木、金谷、佐々木、久水谷夫人から京城駐在各國領事館の夫人令嬢などのお接待で一般御同情ある婦人方の御來臨を待つて居られます(會費は五十錢)

□麥稈帽の女學生

大阪の私立梅花女學校では運動女生徒の洋傘は贅澤であるといふので廢して麥稈帽を制帽としました、リボンの色は學期に色別けしてありますが運動にも街遊にも便利で夏の運動不足にもならず大層好結果のやうなおはなしでありましたと[illegible]つた某婦人は語られました

婦人界消息

●三越の上棟式 本町通三越支店にては十七日午後三時頃新築の店の上棟式を行ひます

△村上寛子夫人(李王職事務官夫人) 五月二十六日嚴父御病氣の爲め御歸京中のところ十六日朝歸京なさいました

△有賀夫人(京畿道第一部長) 令息光則さん(七歳)が眼病の爲め總督府醫院東の五病室に臥されて居ます

◉良い活動寫眞を見せて貰ひたい

□子供活動寫眞館を有つ米國の諸都市□

◇朝鮮でも內地でも活動寫眞が現今の如く通俗の娛樂機關となつてゐる以上その映寫するヒルムが與へる印象は極めて汎く力強いものなるは言ふまでもないことであります

◇よく世間では憐れな芝居を觀た歸り途に舞臺上の人物と我が身の上とをひき較べて悲しさの餘り途には投身して果てたといふやうな婦人もあります

◇活動寫眞も亦これと同じく分別の足らぬ觀客にはいろ〳〵な惡感化を與へることは拒むべからざることと思はれます

◇現に活動かぶれのジゴマ少年だとか活動を眞似て汽車の軌道に寢る小供だとか算へ來ればその惡影響の偉大なるに驚かざるを得ないのであります

◇またこれを衛生上から云ひましても一分間數十回となく觀察の眼を刺戟するヒルムの光線は徹夜して讀書した程の腦の疲勞を感ぜしめます

◇併し惡感化の缺點ばかりを擧げて活動を攻擊するのも決して正當な議論とは申されませぬ——活動が手ッ取早く面白い寫眞を見せて呉れて觀客を嬉ばせつゝ敎育して呉れる點は確かに買つてやらねばなりませぬ

◇米國邊では紐育はじめボストン其の他の各州に於て皆官廳側から小供に觀せる寫眞の設備を實行して居ります

◇小供向としては主に歷史御伽噺、世界の風俗人情、科學上の材料等を採り尙ほ高尙な劇などの寫眞ものも多いのであります

◇そしてヒルムは一應官憲の檢査を受けることとなつて居るのは昨今の日本と同じく誠に其の意を得た所以と云はねばなりませぬが特に小供の檢査官と小供專用館を設けたところは遙かに日本などより進步したやり方であります

◇要するに寫眞は面白くて上品で敎訓的であつて欲しいと思ひます

神社と教會とお寺

△草野きぬ子(小學校敎員) 總督府醫院入院中のところ其の後經過よろし

○西本願寺(永樂町) 十七日の夜は御逮夜、十八日の夜は日曜講話あり

○天理敎布敎所(舊龍山) 十七日午後八時より婦人會あり

○曹洞宗別院(若草町) 十七、十八日の兩夜八時より御膳經の說敎あり

○聖公會(南米倉町) 十八日午前九時三十分シンプソン司祭の司式にて早禱說敎聖餐式あり午後八時より晩禱同道說敎あり

○曹谿寺(大和町) 十七日午後一時より普門御講話あり

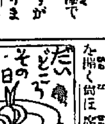
—△會いろ〳〵▽—

△京城婦人會例會 十八日日曜日の午後一時半より倭城臺の事務所にて開催、家庭のお菓子製造の講演が催ふされます

△櫻井小學同窓會 十八日午後一時より第二回の女子同窓會を催す餘興としては活人畫、戲劇琵琶、對話、オルガン獨奏、唱歌の獨唱合奏等面白きもの數々あり

△京城基督敎青年會 十七日土曜日の午後七時半より新入會員の歡迎を兼ねる會員懇話會を開く尙ほ常と金剛山の幻燈其他活動寫眞あり

だいどころ その日〳〵



◉鯛のみぞれ揚に茄子のあげ出し 鯛は三枚におろし小口より平たく庖丁し薄鹽をなしおくしばらくして水をかけ鹽氣を去りメリケン粉をつけ玉子の溶きたるものをつけ終りに道明寺粉を平らにつけ胡麻油にて程よく揚げ[illegible]紙の上に出し油の乾きたるとき皿に盛る 茄子は皮のまゝ四分程の輪切になし之を油にてあげ鯛の附合せとしおろし生姜を其時に少々添へ醬油(濃き掛出し四分と醬油六分を合せ沸騰せしめてつくる)にて食す

番茶のあとこ

頃日總督府醫院あたりの樹立では晝間にもよく「カッポー鳥」の聲をきゝます、朝鮮の淋しい田舍で此の鳥の聲を聞くとなか〳〵詩趣多きものに思はれます△また朝鮮鶯の佛法僧は紅い嘴と紫の羽根を有つた鶺位ゐの小鳥で鳴聲はホーホケキヨの始めがなく頃日の夏樹立に唯ホケキヨ〳〵とばかりないて居ります△昨今道路改修事務所となつた南大門通の古い支那家屋內でまむしが出たと大騷ぎして居ました京城附近には稀しいやうです

商況

東京株式特電

十六日 前場寄付 大引 [illegible]

債券現物特電

十六日 (前日との比較) 東洋拓殖、京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮瓦斯、南滿鐵道 [illegible]

東京公債直取引

十六日 (前日との比較) 九五、四〇 [illegible]

深川在米特電

八一、二〇 八三、二〇 九五、三〇 [illegible]

東京期米特電

七三、二〇 五五、三〇 二〇、二〇 [illegible]

大阪期米特電

十六日前場 三八、六八 三八、六九 三五、五九 三六、六七 [illegible]

大阪株式特電

一二、五一 一二、九〇 一三、四〇 [illegible]

大阪三品特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

朝鮮物産特電

[illegible]

雜報

●大阪期米瓦落 [illegible]

●洋紙類は不昧

本品類は今尙依然として不味を脫け例年ならば盛夏季の需要期にて稍見る可き市況を現出す可き筈なるに本年は一向引立たず加ふるに內地に於ては各店に昨今最高値時代の契約品出廻り來るあり[illegible]

難を感ずる資金運轉の困

[illegible]

相場引返 バブルの本國

[illegible]

●洋鐵更に不勢

洋鐵界の前途悲觀に傾ける事は既報の如くなるが大阪地方より當地某筋への報によれば斯界の商勢は其後益々惡境に傾きつゝあるものゝ如く昨今に於ては既に六圓臺以下の取引くの如きは未だ成立の物なし[illegible]

人氣に惡影響

[illegible]

鮮共同販賣狀況

[illegible]

●米國皮革類昂騰

[illegible]

六圓キッ一坪に付十六錢方の昂騰

[illegible]

下關相場

[illegible]

京城正米

△同常用	十三圓二十錢
△同	十三圓三十錢
△同二等白米常用	十二圓卅五錢
△元山大豆並上	十三圓
△同鮮品	十圓三十五錢
△同ボケ背大豆	十圓 十錢
△優良大豆	九圓九十錢
△同	十圓 十錢
△フリッボ大豆	十圓 五錢
△同	十圓二十五錢
△同背大豆	十圓三十錢
△宣川大豆	九圓八十錢
	十圓 十錢

◉仲買店

仁川米豆取引所仲買人 まるにち 支配人 土居 勝 電二八三番 三八三番

△朝鮮一等白米 十三圓十五錢 左の通りなり

京城雜穀

雨天續きの後今朝は商內なく京城は休日にて刊所の取引全くなし期米は昨夜大阪の暴落を傳ふるに拘はらず仁川市場の今朝前場は十一圓六十三錢に寄付二錢方安値として結局七十一錢と跳ね返して前場大引を見たり後場は如何なる成行きに轉ずるや否やは測られざるも定期にして餘程の激變を見ざる限り當分正米は尙此邊持合を脫し難かるべし

南大門の廻穀

雨天續きに商內殆ど行はれず氣配も格別變つたる模樣なし

仁川現物市場

長湍粟 一五七叺 鎮南浦 二八叺

[illegible]二〇叺

△粟 入荷二百五十六叺 氣配前日段違ひなし

△正米 入荷なし 氣配依然保合を唱へ居れり

△大豆 入荷四百叺 氣配は依然弱保合

生魚市場

釜山統營部山物は引續き入荷なし僅かに元山仁川物の寄荷ありしのみなり從つて入荷の不足なるに反し川來値は漸次高値なり

メイ一四、サワラ九、スズキ一〇、ヒラス一一、ヒラメ六、ハモ七、メバル一三、ニベ七、サヨリ二、甲イカ七、アソビ一五、小物四、カナ六、赤エ四

仁川期米

▲十六日前場 寄十一圓六十三錢 大阪前日[illegible]

電二節三十錢恰度十一錢安の入

[illegible]

十一錢と返し引際更に七

[illegible]

◉利 仲買店

仁川米豆取引所仲買人 電話長九〇五番 電信略號送呈

市場雜聞

▲依然底强し [illegible]

△前場薄商內

[illegible]

聲起りし軟派の警戒

[illegible]

利喰に新規に買

[illegible]

△雨賣り反動

頃日來相場の[illegible]

△一時雨を賣りたる人氣

[illegible]

大石數を賣り込み安値は喰ひ退

[illegible]

害を買被

[illegible]

△正米と期米

前月來正米より見て期米の割高を唱へ居りたるが其後期米は大阪の大暴落に次ぐに暴落を以つてしたるより連れて當地も最高値より約一圓切の瓦落を見たり然るに一面正米界は別段影響する處なく依然保合を持續し居るとなりたるの恐あり斯る事情の爲に唱へられたる期米も割安となりたるの恐あり斯る事情の爲に相場は昨日來底堅き成行を示すに至つたが今後如何なる現象を示現するなるか

△正米師の談

某正米師は語つて曰く一時正米と期米との鞘開き大にして採算上其間幾分の利益を見き

△賣方は正米を買

[illegible]

渡し米買付けにて一向弛

[illegible]

寧ろ利益

[illegible]

仁川米豆取引所

十六日の八月限

前場	平均値段
寄付	十一圓六十三錢
止め値	十一圓七十一錢
高値	十一圓七十二錢
安値	十一圓六十一錢
出來高	八千四百五十石
一節	十一圓六十二錢
二節	十一圓六十七錢
三節	十一圓六十八錢
四節	十一圓六十九錢
五節	十一圓七十錢

賣買取組高

六月限	五千石	
七月限	三萬四千石	
八月限	二萬九千百五十石	
十五日後場		前日と較比

小賣白米

一、六三	一、七〇	一安
一、七一	一、六三	一安

現金賣 一等白米 十四錢 次 白 十三錢五厘

白米標準値

十二圓八十錢

謹告

今般平壤商業會議所評議員選擧に際し各位の甚大なる御同情に依り當選仕り候段厚く御禮申上候 敬具

大正五年六月

(イロハ順)

平壤府八千代町 新野松次郎
平壤府本町 新野吉兵衛
平壤府櫻町 上谷亮藏
平壤府本町 中平岩藏
平壤府本町 村井正明
平壤府泉町 內田彌三郎
平壤府竹典里 山根政治
平壤府本町 松本哲

ゴム外套地 ●防水布雨着其他雨具一式
見本附定價表無代進呈
東京市京橋區南槇町 電話京橋三七九三 振替東京八〇四五一 防水布雨着問屋 福田豐三郎商店

帶革各種 パッキング ビッカー 生皮歯車 綴革組金具 其他工業用諸革
品質保證 在庫豐富
鐵商 白神洋行 朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 定價表御一報次第送呈

和洋製革 靴裁底附屬品壹式 大販賣
東京市神田區田代町
和洋製革問屋 唐澤商店
電話下谷五一六八番 振替口座東京七九一七番
■相場表御申越次第送呈す

△御安心下さい弊店のカヤならば蚊一匹にげ込む餡木館カヤにて至るまで皆心して調造させたものばかり
か や
△品質堅牢にして高價なるは唐川
京城明治町二丁目 電話二六一
唐川呉服店

確實、迅速 (定期米現物案內御報次第送呈) 仁川海岸町 取引所仲買人 廣澤正次郎 電話六五番 六二〇番 三二〇番

長崎縣人に謹告
在京龍長崎縣人會を開く來て多數御出席あらん事を
日時 來る十七日(土曜日)午後[illegible]
會場 南大門通三丁目 ファミリー[illegible]
會費 金二圓(當日[illegible])
申込所 [illegible]
準備の都合有之候に付至急御申込被下度候
長崎縣人會 發起人

鐵砲は横濱の金丸銃砲店に限る
[illegible]

自祝開業十週年 支那料理 宴會一圓酒付 御滿足を與ふ 三券番藝妓招聘御隨意 京城大和町三 電話七三五番 梅の家

胃病新藥 マーゲン 約持店 京城南大門[illegible]

母カノ儀去る[illegible]病死候に付生前辱知諸君へ謹告仕候
大正五年六月十五日
男 桐原彥吉
鮫島秀吉
親戚 一同

吉田大次郎儀[illegible]氣の處六月九日午後[illegible]死去致候に付此段辱知諸君に謹告仕候也
追而葬式の儀は北海道空地郡下富良野村に於て相營み申候
男 吉田久之助 三井物産川鐵山
友人 鈴木四郎
淡輪羅信 三井物産金剛[illegible]
總代 村田哲
佐伯準次郎

宮本武藏

第七十一回

桃川如燕口演　浪上義三郎速記

アツと驚いたが素より強情我慢の澤田一角、切折られた槍の柄を投捨て大手を擴げて宮本に組付いて來る、組ましに置て小手を執り、肩に懸けたが岩石落し、二三間彼方へ圖顛倒と筋斗打たして投付けた、ウムーンと一聲一角先生目を廻して了つた、ソレ澤田氏がやられたといつて大勢飛で來る、隙を潜つて宮本武藏先生道場の表へ飛出してドン〳〵歸つて來た、後では大變な騒ぎ、松田軍次郎、吉江九十九の兩人が指揮をして

大勢の門人共が介抱する、稍あつて息を吹返した澤田一角　一「アアーツ　門「澤田先生確乎なさるやう　一「參つた　門「もう對手は居りません　一「それは殘念……　軍「殘念ぢやアない、ドウしたんで兄貴　一「どうにも斯うにもあんなチヨツカイの早い男に出會した事はない、パタ〳〵といふ中に負けて了つた　九「兄貴でさへ負ける位だから我々の負けたのは仕方がない、エライ奴があつたもんだ　軍「全く頗ぶる技倆、我々の遠く及ぶ處でない、物凄い技倆だ　一「何しろ腰の骨が折れさうだ、ウムーン酷い目に會へば會ふものだな　九「オヤ〳〵兄貴大變に瘤が出來たぜコレは什麼も大變だ　一「さうだらう酷く痛むから　軍「早く水を付けて揉むと宜い、時に澤田の兄貴、彼は尋常の者ではないな　一「何だ　軍「拙者の考へでは宮本ぢやアないかと思ふ　一「宮本

軍「左樣、宮本武藏に相違あるまいと思ふ、師匠岸柳殿に逢はんがため此所へ乘込んだが不在といふ所から稜名して來て我々共を打込んだのであらう　一「さうかな　軍「其れに相違ない　九「宮本と知つたら暗々逃がすのではなかつたが殘念な事をした　軍「オイ〳〵吉江、大架裟な事をいふもんではない、暗々逃がすもないものだ我々三人を片端から打仆して大手を振つて威張つて歸つたのだ、貴公などは一番先にヤラレて了つたぢやアないか　九「さういへばさうだが宮本が來たといつて此儘にして置いては先生に申譯がない、ドウしたものだらう、追掛けた所で引返して來られると困るし、遠くの方から鐵砲で討つといふ譯にも往かず、弱つた　軍「什麼も外に名案もない」と話しをして居る所へ門人の一人が、○「エ、澤田先生、只今の侍が置いて參りましたものと見へまして門の所に此樣な紙がございました　一「何か書いてございます」と夫れへ出したのを松田軍次郎が取つて見ると一枚の紙へ矢立の墨黑々と書流しましたる一文

一古語に曰く君父の仇は俱に天を戴かずと義父石川群東齋巖流汝の奸計に陷つて無念の横死を遂げ宿憤忘るゝ所なく、來つて汝の首級を求めんとすれども未運盡ざる所か偶然に逢ひて願望を果さず、去つて一度東武に歸る、汝此文を讀み了らば頭を洗つて再び我刄の至るを待て　宮本武藏正名、佐々木劍道齋岸柳門人共へ

群羊獅子の跡を追ふ事なかれ、

と認めてあるア、と驚た松田軍次郎　軍「什麼も宮本だらうと思つたが果して此通りだ　一「ウム宮本かい、道理で恐ろしい強い奴だと思つた　九「一番彩ひに群羊獅子の跡を追ふ事なかれといふのは一體什麼いふ譯なのだ　軍「群羊といふのは群れ居る羊だ、羊が獅子の跡を追掛けたつて駄目だといふのだ　九「羊といふのは一體誰の事なのだ　軍「つまり貴公や拙者の事なのだ　九「ヘエー酷い事をいひやアがる、羊とは情けない事をいふ奴だ　一「羊といはれても仕方がない兎に角酷い目に逢つた」といつて三人ながら驚いて居る、此方は武藏、道場を出て菱屋金兵衞方へ立歸りスグに出立の用意をして、岸柳が居なければ熊本に用もないから熊本を立つて豐前の小倉へ乘込んで參り、便船を求めて大阪へ渡る考へ、大阪川口迄の船がありましたから其れへ乘込んで順風でありますから船脚も輕く瀬上矢の如く走つて來る、此船中に於て武藏先生一つの仁を施す一條

時勢に伴ふ車は辻

附屬品卸小賣共
格安に御取引仕候

京城黄金町三丁目
辻商店
電話一二九〇番

內科外科花柳病
入院隨意
南米倉町朝市場通仁濟病院跡
上野醫院
電話二九三四番

●未だ値上をせぬ評判の好いクラブ

歐洲大戰亂の實際の影響と之を口實させる一部投機者流の思惑とによりて一時昂騰せる化粧品の暴騰を告ぐるや化粧品製造業者の如きも先を爭つて値上を協し互に後れざらんことをこれ競ふの有樣なりしが流石に斯界の覇王を以て目せらるゝだけにクラブ白粉本店は超然として此の風潮に雷同せず飽くまでも顧客に對する信用を重んじ多大の利益を犧牲にしながらも忍び得る限りは値上の實行を忍ばんとし斷然平價を維持して今日に及べるより需用者の氣受頗る宜しく近來白粉でも歯磨でも其他の化粧品でもクラブ全盛の有樣にて市內各商店に於ける其の賣行は驚嘆らしき盛況を呈しつゝありといふ

六月十八日九星
舊五月十八日丙戌
本命五黄八方塞り

▲五黄　評判〳〵して思はぬ事有り新規見合南方は吉暗劍なし▲六白　用意周到の日轉居入學金件名弘求職　築造斯部帶劔　爲替吉日に勝の日▲七赤　調理の日轉居旅行入門名弘金件求職諸請婚醫藥劔萬吉▲八白　たてられ迷惑の事有る日新事手控轉居は吉又散財を防ぐべし▲九紫　大利の日ふさ　立身出世の道に逆づ事進で吉待人遠方より來る▲一白　見込違ひを生ぜんとす新事手控萬事は吉一切の難事せぬがよし▲二黒　調付に來る事有る日新事手控萬事は吉保證連帶を愼む▲三碧　力量損となる事有る日新事手控萬事は吉家子は行儀を守るべし▲四綠　欺され安き日新事手控常の事は吉買物に用心せらるべし

演藝案內

天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店　Mカシー商會　朝鮮一手代理店
電話一八五二（階上）二六三七（階下）
黄金館

●六月十六日より差替の大寫眞　●實寫　●喜劇　●泰西人活劇空中の大秘密　全三卷　●新派大悲劇「山賊」　●舊劇蝶花形名歌の島臺小坂部館の場　全四卷

寫眞
京城日報社寫眞製版部
寫眞出張撮影　寫眞銅版亞鉛凸版

明治町
浪花館
電話二六〇番

今晩の讀物
△二人探偵（瀧之助）△湖田主水（如月）△深川五郎（雲照）△水戸黄門記（兎月）△佐原家騷動（長講二席）△五郎正宗孝子傳（如雲）△山共（鳥）

大好評
初日午後七時大入滿員
日本三大仇討
三十六番切り
伊賀越
全七卷壹萬三千呎
眞田大助以上
櫻井町
大正館

御成町
電話二九一番
御成座

九日目藝題
一番目　お車お仙
二番目　喜劇夢の浮橋三場

櫻井町
電話八七三番
大正館

◎泰西探偵奇談「死の暗」
◎喜劇「伊賀越大仇討」

ニキビそばかす

の爲め御困難の人はハガキにて御照會あれば最も手輕に治癒し得る効力偉大なる他に無比の良劑を惡切に御報す

東京市両國小梅町　平澤醫院

長生の新法

小森式塗擦液

醫師　小森喜代三

十五回分（十五瓦入）金一圓五十錢
三十回分（三十瓦入）金二圓八十錢

村井弦齋先生の朝日新聞「大正小森式塗擦法」

東京市芝區西久保櫻川町十六番地
小森順生堂藥劑部

わきがの藥
…………人のいやがる

●音尾博士の發見

▲ハガキで申込

東京博愛藥院

長壽靈品は「ヨーグルト」

京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇四番

「荒井の牛乳」
滋養・健康の母

蛇印アンチピリン丸

かぜ　ねつ　最良藥

早く治る藥　よくキク藥

さむけ出て發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時に効あり（價十錢、十五錢、廿五錢）本劑を服せば不思議に治る
大阪東京　丹平商會　本舖

ルーデサック BA

變形以上一個廿五錢女用一個八十錢
一割引外に要送料郵券代用

京城黄金町三　山田文成堂藥房

●東京 新橋の七人組

▲全盛眞近な綺麗ぞろひ
▲緋扉に片頬隠して風涼し

菖蒲、芍藥に代つて今度新らしく選んだ新橋雛妓七人組の結縞揃の人氣は大したものである、前の七人組の連中はもう一角積領きが鮮かになつた故かすつかり、納まつて了つたが新しい七人組の綺麗なのには熟々感心して居るさうである、其花恥かしく

▲手絡濃艶に咲揃 つた七人組といふのは、新叶家の清光、本花家の小國、森川家の兒太郎、吉小川の喜代奴、松日家のゆかり、本叶家の妻奴、梅三升の音千代の七人でいづれも十四五歳の蕾の花、友禪の着物に紅縮珍の帶、朱塗蒔繪の木履に鈴を鳴らしながら弘めをしてからもう、口紅溶く手振も巧者に隠に零るゝ風情が出來た、藝に艶を持つて、朝露にシツトリと匂ひが、服裝化粧も新進〳〵新進美人には

▲三日見ぬ間の櫻 と云ふ美人の法がある、化粧でも矢鱈と白くこて〳〵と塗る餘飾化粧の時代は過ぎて如何に濃化粧でも淡化粧でも生々と自然の肉色に見ねばならぬ目覺る樣な美しさを發揮する化粧上手の時代に變つた、その爲めにホーカー液ホーカー白粉の高等化粧料が容貌苦勞の多い花柳界では大持てゞある

▲瓜實顏に下膨顏 と云ふそれから顏の型も風に流行廢りはあるが、しかし水際立つた美人なら何方でも好い譯である、この內清光は清香仕込みの洒氣滿々たる妓、小國は藤間政彌の內でも師達者の指折に這入り、藤間勘十郎仕込の舞姿は女でも見惚るばかりである、どうして其麼に美しいのと聞けば、ニツコリして『ホーカー白粉のお蔭よ、だから此間皆なと日比谷に躑躅を見に行つた序に一寸寄つたの、さうして一所に寫眞を撮つてよ、見せませうか』と云ふ

ホーカー化粧料を持てる新橋七人組

▲可愛い茶目振り を發揮する陽氣な面白い奴は兒太郎で活動寫眞は凸坊の新案畫帳が一番好き、京都式の丸ぽちやで何處までも可愛い『こないだ美人になつた禮に行つたさうだね』と先廻りをすると『あらどうしてそれを御承知、全く妾等は皆んなホーカー液最負、ホーカー白粉最負たのよ、そりやスベ〳〵して自分で觸つても氣持の好い位皮膚が綺麗になつてよ、キメが細くなると化粧栄がするわね』とひとわたり聞かされる

▲牡丹の濃艶さに キリツと引締つた顏、將來を囑目されてゐる音千代は、お化粧上手で有名だが、やつぱり、ホーカー液、ホーカー白粉は掌から離したことがない朝、ホーカー液を滴してさつと手際よく顏に塗る、その儘御飯にして、後でお化粧をするのだが、かうすると顏の皮膚が艶々として、何とも言へない好い匂がし、だん〳〵色が白くなつて生れ付の樣に美しくなると云ふ

▲御飯が濟んでから塗け るホーカー白粉はノリノビが好く、目焦化粧崩れの心配がなくホーカー液の方は男子方もお塗けになる、ゆかりは額際にたつぷり美しい艶々しい髪が目立つ、純製のホーカー美髪液の賜物だと云ふ……

喜代奴は發句の名人、好物は甘い物で、小さい信玄袋の中には何時も堀越の朝鮮人蔘應用ホーカースキートの函入が忍ばせてある、その云ひ草が面白い『外のお菓子と違つて朝鮮人蔘と麥と牛乳と雞卵とで精製たのだから美味くつて衛生にいゝわ』と

○東京で一番よく賣れる
○美人美男子となる
塗けると天然の美相を遷に現はす化粧藥
ホーカー液
ホーカー白粉
東京和泉橋
堀越嘉太郎商店

內科
胃腸病
診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話專用二七二・三九

昔も　今も
効能で賣れる
逆上を引下げ便通をよくし
梅毒其他諸毒を下す
七ふく
ひえきり
大日本大阪高津
電南七二九・振替大阪九七三

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）
酒井婦人病院
入院隨意
電話二六〇番

王石灰印
石灰は長谷川
銀牌受領
□建築用　□工業用　□壁塗用　□消毒用　□肥料用　□セメント　□左官材料　□其他一式
專造工場京城麻浦
長谷川商店

京城本町二丁目（元斯會社向側）
內科　小兒科
芙蓉醫院
醫學士　森定吉
電話二六三番

くすりは山岸
諸官衙御用達
洋藥　賣藥　卸問屋
醫療及試驗器械
懇切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候
京城本町二丁目郵便局前
山岸天佑堂　藥品部　器械部
電話

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町
同　龍山出張所
龍山元町二丁目
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

京城日報
第三版
十七日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 合資會社 京城日報社　太平通一丁目
發行兼編輯人 奧田直毅　印刷人 小川三之介

京城日報

興味深き政戰

米國の政戰は益々興味深くなり來れり。今や米國民の上下は、此の政戰の爲、滿身の血を沸かしつゝあるべし。

共和、進歩兩黨は、去る七日以來市俄古に於て、既に三回の大統領候補者選擧大會を開き、共和黨は大審院判事ヒユース氏を大統領候補者に、フエアバンクス氏を副統領に選擧せり。進歩黨は、大統領候補者にルーズヴエルト氏を、副統領には千八百九十八年米西戰爭の際、ル氏と共に玖馬サンチアゴに於て勇名を轟かせし、ジヨン、パーカー氏を推せり。

之より先き、兩黨幹部に於ては、昨秋以來、兩黨合同復活運動を計畫し、以て今回の選擧には、前回の失敗を繰り返さゞらん事を目論見居たるも、大會開會二日目に於て、兩黨の妥協は、遂に一致點を發見するを得ず、共に單獨行動の止むなきに至れり。されば共和黨は、再び、千九百十二年の、惡戰苦鬪を繰り返さゞるの止なきか。蓋し進歩黨の注文は、ル氏を共和黨候補者となし、其の他の點に於てのみ、共和黨に讓歩せんとせしにありしもの、如し。然らば、妥協の不調は、寧ろ當然の沙汰にして、敢て怪むに足らざる處なりとす。何となれば、ニユー、メキシコ州等に於ては、ル氏の勢力は大なりと雖も、全體に於けるル氏の聲望は、今回の投票に於て、大會出席代表委員九百八十五名中、ヒユース氏の得票九百四十九票に對し、ル氏は僅に六十五票に過ぎざるに見るも、以てル氏の聲望前日の如きに非ざるを知るに足るべし。而して此の兩黨の不合同を眺めし民主黨にては、窃に前回の覆轍を期し、今回もウキルソン氏をして、白堊館中の主人公たらしめん事を期せり。然るに局面は即ち一轉して、ル氏は四圍の大勢に鑑み、斷然逐鹿戰を中止し、共和黨の爲政友ヒユース氏を援助するに決したりと。果して然らば、之れル氏一身の新生面を拔くのみならず、事實上に於ける、共和、進歩兩黨の合同復活あるが故に、嚢に兩黨妥協の不調を見て、前途を樂觀したる民主黨は勢ひ政戰上大打擊を被るべく、又た決して樂觀を許さゞる也。

中原の鹿、果して何人の手に落つるかは、窺知するを許さゞるも、以上の如くんば、勢ひ共和黨のヒユース氏と、民主黨のウキルソン氏との大政戰となるべし。ウキルソン氏は、現大統領として、名聲既に高きも、ヒユース氏の政治的手腕は、未だ之れを知る者少し。然れども、ヒユース氏の人物、手腕に至りては、蓋し、共和黨中、多士濟々なりと雖も、先づ指を同氏に屈せざるべからず。即ち擧黨一致、今回候補者に指名せられたる所以也。

ヒユース氏は、當年五十四歲、米國大審院判事の顯職に在り。元國務卿ルート氏、元駐英米大使チヨート氏等と共に、米國法曹界の大立物たり。彼のアームストロングの保險會社を起訴し、忌憚なく紐育州の不正保險會社の內幕を暴露し、初めて其の政治的手腕を認められ、早くも將來の大統領を以て目さるゝに至り、一躍紐育州知事となるに及んで、益々其の特色を發揮し、紐育ボス政治の化身たる、タマニーホールを抑へて、舊惡を摘發し、或は不正取引所の糺彈は勿論、馬券賣買を禁止する等、眼中更に黨派なく、一に以て公明正大を旨とし、忽ち聲望隆々として、當時既にルーズヴエルト氏を壓するの慨ありたるの人也。今回の指名、又以て洵に當を得たりと云ふべし。然り而して、ル氏の援助を以てせば、恰も四年前、ブライアン氏の蹶起して、ウキルソン氏を援けたるが如く、ヒユース氏の逐鹿戰は、更に一段の光彩を放ち、一方民主黨の之に對する活躍亦花々しかるべし。米國の政戰も、愈々之より、益々興味の深きを加ふべし。

露國の對外貿易（下）

之を要するに戰爭は多くの事業家を覺醒せしめ、無限の精力と忍耐力とを有する幾多の事業家を極東の舞臺に進出せしめたり。彼等は最早何等の制束的魔力にも惑はされず獨自の進路を邁進するならむことを期待するに充分なり。然りと雖も露國の商人には智識あるもの比較的尠く、外國語に通せず商業上の學識なき等の事實は蓋し露國商人の爲め且つ露國の貿易業發達の爲め一般に大なる障碍をなすものなり。何の故か露國に於ては商人といふ職業は未だ一般に普からず、加之商業教育を受けたる有識社會の人々すら尚ほ且つ商人たることを忌避する傾向あり。絕大の企業心と精力と忍耐力とを有する天性の商人のみ唯商業の途を進むなり。されど事業に必要缺く可からざる學識を缺げる事は彼等の素志と能力とを能ふ限りの限度まで自由に伸張せしむることを許さず、常に彼等の進路に於て更に事情に明るき者及び團體のために壓倒されて意外の困難に遭遇すること尠からず。

目下烏港を經由して行はるゝ露國の對外貿易は主として輸入貿易に在り。其の原因はいふ迄も無く戰時の事情と多數原料品の輸出禁止とに在り。然れども日、米、其他極東の諸市場との關係益々發達せば將來に於て露國の輸出貿易の顯著なる進展を見るは必然の數なる可し。斯の場合に於て特に利害の密接なるは最も廣大なる需要市場としての北米合衆國なり。已に今日に於ても米國よりはそれぞれ露國にとりて大なる利益たるべきなり。米國商店は即ち露國茶、羊皮毛皮、膠製造用の革屑、或は乾果等の輸入に興味を持つもの、如し、露國產物貨の注文は亦コロンボ及びシンガポール方面よりも入り來ることあり、露國のマッチ、紙卷煙草、魚卵、罐詰、食料品、乾酪等は其の主要なる注文品なり。斯くの如きは未だ貿易關係の第一歩に過ぎず、而かも現下は最も不況の時代なり、併し乍ら露國の商人たるものは此際是を開却すべからず、乘ず可きの機會ある毎に彼等の注文に應ず可き覺悟なかる可からず。

昨今、日、米及び日米の仲介を經て烏港より輸入さるゝ貨物は枚擧に堪へざる程なり、金屬、藥料、化學製品は殊に莫大なる數量に上る。次は麻布袋、帶鐵、靴、及び貴金屬製品の如きものにして殊に後者に就いては日本人は既に獨人の占めたる地位に代らむと欲するもの、如し。然れども斯る種類の貨物にして露國に於て使用さるゝもの、大部分は露國の製工品を以て需要を充すことは將來不可能のことには非ざる可し。凡そ叙上の如き貨物流動の大分岐點たるは香港及び上海の二港にして從つて烏港との貿易關係は著しく殷賑なる盛況を呈するに至れり。今や露西亞は世界の市場に於て甚だ有力なる購買者となれり、吾が商業界の人士は大膽に仲介を避け、生產者と直接交渉を結ばむとする欲求を以て世界の各地に注文を發すべきなり。世界の市場は露商の意を迎へて其の要求を充す可きは何等の疑ひを容れざる所なり

金剛山寫生　平福百穗

△溫井里から寒霞溪を、十五丁許り溯ると萬物相の峻嶠は右手の鱗間に聳えてある。

內地臺灣所觀

漢城銀行專務　韓相龍

八、臺灣視察の感想

予が在臺日數は僅かに一週間の短時日にあり。臺灣の關門たる基隆港より鐵路一過、砂糖の產地として名高き阿候廳に至る沿線を視察せしに過ぎずして、遍ねく踏査するに餘日と機會とを得ざりしのみならず、滯臺中は名士の招待會に赴き歡柄の序次汎く我が朝鮮の紹介に努めたるを以て親しく調査の目的を遂するを得ざりしも、先づ臺灣の地を踏みて忽ち感歎するは、到る處產物の豐富にして商賈農民の活動勤勉なる狀況と、其家屋建築の櫛比宏壯なること、村落に至るも煉瓦の住宅巍然として聳ゆることにして、如何に富力の程度高きかを窺知し得たり。產業の發達は斯く富力を作りたるも、其原因は天與の產物無限にして、且つ收穫容易なるに據る。而して行政當務者が銳意產業の開發を奬勵し、開物成務の實を擧げ、利用厚生に努力せし結果に外ならず。然り而して臺灣住民は我鮮人の如く怠惰にして退嬰的なると異なり、一般に勤儉力行の美風に富み、忍耐力と貯蓄心との強きは抑も又貨殖力を增進する最大原因なりとす。試みに郵便貯金の多寡に徴すれば、臺灣人は一人平均六圓七十錢にして鮮人は約三圓即ち半額にも滿たず。商賈の如きは銀行預金を最も頻繁に利用し取引を敏活になすけ到底朝鮮の比較に非ずして、臺灣に於ては金融常に活動する時期多く砂糖、米樟腦、茶の如き生產及び搬出は殆んど年中を通じて其資金運用の必要あるを以てせり。朝鮮は產業の開發漸く緒に就かんとするも金融界の活動期は唯晩秋穀物搬出の一季なるを以て、彼我金融の活動に懸隔を生ずる次第なり。翻つて人口の分布と密度とを稽ふるに、臺灣は蕞爾たる一孤島なりと雖も、人口三百五十萬を抱擁し（勿論蕃界を除く）一平方里當り二千八百人なるに、朝鮮は廣袤臺灣の六倍に當るに拘らず、人煙稀薄不毛の地多く一平方里一千一百人に過ぎずして其比較は實に臺灣の四割に過ぎざるなり。現在の鮮民が生活程度の低きに甘んじ、徒に舊慣を墨守し惰性依然として改まらざるは慨歎すべきことにして、予は臺灣土民の活動振りと其生活の向上とを目睹し一層斯感を深からしめたる所以なり。勿論臺灣は天產物豐富なりと雖も、朝鮮も亦天與の富源饒かにして農產に鑛物に將た漁撈に開拓の餘地綽々たるを以て、時勢の進運を直覺的に看取し從來の迷夢を醒さゞるべからず。

臺灣に於ては途上亂醉し或は喧嘩口論等を見ること少く、秩序の整然たるは一驚を喫せり。朝鮮の如く路傍に於て醉歩蹣跚し或は罵詈讒謗するもの往々散見するが如きは、品性の修養上忽にすべからざると共に、風紀取締上にも一顧を要すべきことなり。如此は向上發展の國民性涵養上に影響する所尠からざるを深く憂慮に堪へざるなり。又事は些細に涉るも土民の服裝は男女共悉く黑色にして、男子は多く斬髮なり。鮮人の如き白衣を守ち洗濯に追はるゝに比すれば、頗る經濟的にして又斬髮は結髮に比すれば輕快にして作業上の便利も多しとす。之等も風俗改良上一考すべきことにして採擇の價値あるを信ず。

五月雨（一句づゝ）
（五の日十の日會吟）

○壁の厚さ覺れ居る窓のさみだれ　披柳
○五月雨の立トヒが砂吐く　烏堂
○牧場も三ツ目の島に五月雨れて　日池
○驛鈴に連れ立つ酒幕五月雨るゝ　虎耳

□夏の句を募る　六月三十日限　各題選者交せて選なし、瑞麟洞三十四浮城會宛投稿の事

京日詩壇

○夢後有作　圓山　牧雲
昨夜三更月到窓。十年萍跡夢湘江。果然覺後無人處。霜冷門前精進幢。
評曰　巧寫幽境

○同上　永井　烏石
詩餘庭樹鎖門深。空煮藥湯親枕衾。昨夢分明鞭白馬。回龍寺畔射飛禽。
評曰　回龍寺李成桂隱棲之遺跡、使讀者有蒼茫無限之感

○同上　栗原　華陽
悄然獨坐意悠悠。身自臺灣到滿洲。夢覺仙鄕何處去。中天只見曉雲浮。
鵬背託身東海濶。芙蓉峰上曉塵空。夢醒彩霞春渺渺。千里仙緣不可攀。
評曰　前首情味悠然後首句麗情逸

日報歌壇

□青嵐　樋下田淡留

青嵐かろき袷の袖うちて身にあるおもひあばかんとする
さら〳〵と素足にさばくもすそよりしれしと見るひかけの小草
かさゝぎのねぐらもいつかかくされぬ白楊しげみに聲のみはして
あるときはありのすさびにつらき人のへだたれば我心にひそむ

大阪期米特電（十四日）
大阪三品（十六日後場）
仁川米豆取引所
▲現物界

漢學講義錄　講述科學
速成一ヶ年卒業■講義通俗平易■詩文添削及質疑應答無料■紀念大特典提供■見本付會則無代進呈■東京神田表神保町　帝國漢學普及會

■大好評■初版再版三版悉賣切四版出來
村上浪六先生新著　菊版美裝　定價九十五錢　送料八錢
人の垢
どんなものか讀で下さい
發兌　東京日本橋スキヤ町　振替東京四九五四　明文館
賣捌　京城　大阪屋號

一般同好家の出品に係る
盆栽展覽大會　期日　六月十七日　十八日
朝鮮產眞栢成行入札會　開札期日　六月十八日
書畫骨董陳列入札會　開札期日　六月十九日
雨天順延
黃金町三丁目（東拓南隣）電話三十四番　淸香園

醫學博士瀨川昌耆先生校閱　醫學士島崎昭生著
家庭小兒科醫典
最新刊　菊判上製索引附四百六十頁　定價壹圓五拾錢　郵稅十二錢
東京神田　富山房　振替五〇一番

特に
アルボース
の必用時節
來る何人も日々使用を怠る可からず

實業之日本社
實業講習錄
總裁　大隈伯　副總裁　澁澤男
只今入會する者へは書籍大割引あり　見本申込次第進呈
一ヶ年卒業
自宅獨習
△銀行會社員希望者は來れ
△商店員として成功を欲する者は來れ
△昇進の遲きを歎ずる者は來れ
△實業教育を受けざる者は來れ
△決斷鈍き者は成功せず速に決心せよ
帝國實業講習會

朝鮮總督府
物品拂下
朝鮮總督府鐵道局
東京植松出張所發賣
萬年筆
修理部
書籍御案內
世界之變局
政事家としての桂公
孫子諺義
前大平記
財界名士失敗論
管理法
法然上人
長者星
俳諧師
思ひ出記
雀躍
漢和辭典
賣捌所　京城日韓書房

○巴里經濟會協議事項
阪谷男佛國新聞記者に言明

巴里聯合國經濟會議は十四日開會せるが其の協議事項は聯合國の眼前の利益を計り以て戰勝に資すべき事にして聯合國貨物共有問題、船貨問題等の討議あるべし又戰後の經濟同盟にして代表國の中には關稅同盟を作り或る年限の間獨墺兩國に對し差別的關稅を課する事とし雖獨墺商人に特別の官許を與へ之に依りて聯合國と貿易を爲す事を得せしめ聯合國に職を求むる獨逸人に個人稅を課すべしとの但書を設けん事を主張し居れる者あるが他の代表國は前者よりも稍緩和なる意見を持し居れり阪谷男は佛國新聞記者に會見の際日本は其の力の及ぶ限り忠實に聯合國と協同一致の步調を取らんとすと言明せり(倫敦電報)

○約法會議一時中止?

一度國務會議に於て決議せる約法會議召集も反對者の爲め中止さるゝ模樣あり結局參政院に諮詢するに至るべき形勢なり(北京特電)

○張勳を怖るゝ理由

北京政府が張勳を怖るゝは部下を率ゐて北京に來り前清皇室及び袁家を保護すべしと主張するにあるもの﹅如し(北京特電)

○グ氏現大統領を稱揚

聖路易來電に依ば此程民主黨大會開催され前紐育州知事グリーン氏議長席に著き氏は口を極めてウヰルソン大統領の政治的手腕を稱揚し中立政策は米國の新方針なりと言明せり(倫敦電報)

○獨逸系米人の阿諛

紐育來電に依れば獨逸系の米人は有ゆる阿諛追從を以てヒユース氏の歡心を求め氏の援助を得んとに腐心しつゝあり獨逸系米人に對するヒユース氏の態度如何との新聞記者の質問に對し氏は答へて曰予は飽迄米國主義を主張せんとするものなりと(倫敦電報)

○墺軍十五萬捕虜さる

露都來電の公報に曰く露軍は墺軍との戰鬪に於て十五萬人以上の捕虜を獲たり(紐育電報)

○露軍占領

露軍はドニエスラル河南方に於てスニアチンを占領したり戰鬪はゼルノウキツツの堡壘にて繼續中也(京都電報)

□聖上御祝電

天皇陛下には露軍がガリシヤ方面に於ける多大の戰捷に對し十四日露國皇帝陛下に深厚なる御祝電を御發遣遊ばされし處十五日露國皇帝陛下より鄭重なる御謝電到著せりと拜承す(東京特電)

○工場法施行令
特別委員會開會

去る十日樞府特別委員に附託せられたる新工場法施行令特別委員會は十六日午前九時より永田町事務局に於て開會伊藤委員長を始め金子、末松、清浦、都築、三浦、濱尾、曾我、穗積の各委員出席政府側より河野農相、岡商工局長等列席新施行令案に就き種々質問應答あり午後會議を繼續し散會せり(東京特電)

○滿鐵株主總會
純益金八百零八萬四百九十九圓

滿鐵會社にては十七日午後二時帝國鐵道協會に於て定期株主總會を開き利益分配案を附議する筈なるが今期成績は總益金四千三百七十八萬六千零二十四圓總損金三千五百七十萬五千五百二十五圓差引き八百零八萬四百九十九圓の純益を見たり之れを前期に比すれば總益金に於て八十八萬四千五百九十二圓を減じたるも總損金に於て更らに百四十二萬三千九百九十九圓を節約したるを以て其の純益金は五十三萬九千四百〇七圓の增加を示せり而して此の利益分配案は前記の本年度益金と前年度繰越金二百五十六萬九千九百九圓を合せ一千六十五萬四百〇八圓の內四十萬四千二十四圓法定積立金二百五十萬圓政府配當金百五十四萬圓政府以外の株主配當金(年六分)五十一萬三千三百三十三圓第二配當金(年二分)二百五十萬圓特別積立金三十萬圓役員賞與金二百八十八萬四千百四十圓翌年度繰越金となすべし(東京特電)

○辭令

十六日左の通り辭令ありたり(東京特電)

朝鮮總督府鐵道局參事補 有田寬治郎
任朝鮮總督府副參事(五等)
朝鮮總督府屬 朴容喜
兼任京城專修學校教授(七等)

◎日滿貨物の經路
殆んど朝鮮經由の傾向

大連經由日滿貨物の數量に關し鐵道局より滿鐵大連埠頭事務所に照會したる處其回答に依れば大正三年度は南北行共皆無にして四年度に於ける哈爾賓發內地行は約一噸八分ありたるのみにして之を朝鮮經由に比較する時は殆んど比較ともならざる大差なり更に內地發東淸線著の貨物中發驛の位置の關係より敦賀に出で浦鹽經由を利得とするものもあり即ち是等の關係を綜合表示すれば左の如し

	鮮滿經由 三年	鮮滿經由 四年	大連經由 三年	大連經由 四年	浦鹽經由 三年	浦鹽經由 四年
內地發東淸著	三、一五三噸	六、三〇〇噸八	…	…	…	二四噸
東淸發內地著	二〇噸〇	四噸一	…	一噸八	…	…
合計	三、一七三噸	六、三〇四噸九	…	一噸八	…	二四噸

之に依りて見れば朝鮮經由は關稅低廉輸送期間短少等の關係より大連經由に比し遙に有利の地位を占むるものにして大阪以西內地發著の日滿連絡貨物は全部朝鮮經由なりと見て差支なかるべし

◎電氣擴張計畫

京城電氣會社現在の電力供給力は尙多少の餘力を有し居れども京城の發達に伴ひ茲數年ならずして不足を生ず可きものなれば早晚發電所の一大擴張を必要とす可き機運にあり會社は既に其案を立て增設機械も注文したれば近く擴張の實現を見るに至る可く追ては使用料の遞減をも行ふに至らむと

◎燐寸は大崩落す
四月頃に比し五割落ち

朝鮮に於ける燐寸界の近況を聞くに各地共春來稀有の荷閒へにて何れも夥しき持越品の處分に當惑しつゝあるが殊に內地の梅雨期に入つて京城以南は雨繁く更に近く朝鮮の雨期を目前に控へ居る爲め黃燐の如きは品痛みの虞れ多く旁々資急ぎをなす必要あり此等の原因相待つて朝鮮に於ける燐寸市價の激落を來さしめしもの﹅如く乃ち黃燐は四月の相場五十二三圓を唱へしもの雨來日々相場軟弱を示し漸落に亙ぐに漸落を以てし最近京城にて二十七八圓てふ殆んど五割弱の下値となれるが此の値は前途朝鮮荷閒への影響强き故にて內地にては不況なりと雖三十圓の相場を持し朝鮮に移入して三十二三圓に見ざる可らずと云へば乃ち朝鮮の建値は破格の安價なり一方安全燐寸は比較的雨に傷まざる爲め三十五圓の市價を維持し內地との間に大差なきも然も之れを四月相場の五十二三圓なりしに比すれば十八九圓の大下落なり事情如斯に付最近內地よりの入荷は殆んど云ふに足らず又此の激落の影響は相當各地の持荷筋の苦痛なるべしと云ふも猶冬より今春に至る暴騰貴に收利著しかりしと云へば結局左ほどの事はあらざるべしとも云ふ

產業と資金=農銀支配人の地方談
光州農銀 森悟一氏

全羅南道も他道のやうに工業は目下の所殆んど見るべきものがない、只張り道の經濟を支配してゐるのは米と棉である、

▲地價の暴騰 今度の農銀支配人會議で各道の實情を承知した譯だが地價の騰貴に於て全南は一頭地を拔いてゐる、上中下の各水田共昨年の底値に比すると三割方の上向きで賣買も可なりある、殊に上田程上物が强く取引も多いやうである、これは從來中田若くは下田を內地人營農者が買つてそれに指をつけやうとした傾向と異なり此頃新營農者の考へは成る可く上田を手に入れようとする乃ち堅實な風な聞致したのではないか、果して然りとすれば頗ぶ好しい譯である、相場は一反上田七十圓、中田四十圓所、下田二十圓內外と見て大差はあるまい、地價は向ほ上向きの模樣と云つて差支へない

▲農事資金の需要 全南は產米も全北に讓らない、然も全南の水田は到る所相當水利の調節が出來灌漑排水共に大なる遺憾なきに庶幾い、これ全南に大規模の水利事業が起らず此の方面に纏まつた銀行の貸出しを見ない譯である、併し二十町步以上の內地人營農者が道內に五十人もゐる、其中には農銀と關係のある分も少くない、從つて例へば未墾地の開墾、種子の改良、施肥の改善等に對し道當局の施設に副ひ農事資金の貸出を行つてゐるのも可なりある又棉作の獎勵には當局の斡旋もあり大正二三兩年間に二十萬圓の資金を貸出したが昨年より止めた以上の外唯數字を擧示して大口の貸出しと稱する程のものはないのは遺憾です最近和歌山の德川家美濃の大垣氏など大分手廣く土地を買込んで大農場を設けて行かれるやうである

▲木浦の紡績經營 永い間の問題で今も尙ほ問題たるを失はないのは木浦の紡績業經營如何だ、これ全南棉作の將來を見込み必然企業を要すると云ふ所より出でたのであるが然し實狀は如何と申すに大正四年度全南棉花買收高は二千三百萬斤で、これ丈けの棉は大阪に送つても同地の紡績業が三月を保たない、木浦棉の聲價が大阪に出來ない理由は茲にある、或は今後幾何の栽培面積を殖やし云々と力味む人も見えるが、棉の生產は面積にあらず狀だ、印度棉の如きは全南產に比し伸長力及び收穫に於て數倍する、實際現程木浦には紡績業を起し全南綿を用ゆると共に印度綿を輸入して操業したら好いとも云ふ、併し八割の原料生產に對し二割の輸入を受くるならば構だけれど二割の原料に八割の輸入を受けて事業を繼續するのは隨分危險を顧倒してゐる樣だ、それも木浦の占めた地の利が東洋大市場に優越であるとか乃至は燃料豐富なりとか云へば格別だがまだ〱木浦紡績問題は乍殘念尙早でせう

△全南の手工業 全南に工業と云ふものはない唯單なる手工はボツ〱見ゐる、農銀で關係のある者といふのも濟州島の椎茸長城の寒天木浦及び那部の麵業更に海岸部の海苔等である、之等は段々生產を增し將來大きくなり行くものもあらうと思ふ、無論及ぶ限りの援助は惜まない、水產は可なり多いが大部分は內地の山上組などが進つて來て漁ると直ちに此所で母國に運び去るから一向全南の潤ほひとならぬ、金融は全南も稀有の緩漫で遊資は可なりある、其消化は刻下の問題である、財界の大勢は矢張り各道の如く米安で不振と云ふの外はない、が前途の如く地價の出で初めしに見るも前途必ずしも悲觀に及ばずと考へてゐます

◎元山驛に稅關開設

京元線には從來稅關事務取り扱ひの便なかりし爲め陸路の輸移入貨物に對しては新義州、釜山其他の開港場に於て一々輸移入の手續きを爲し、又た輸移出貨物に對しては新義州、釜山其他の開港場に於て一々輸移出の手續きを踏まざる可からざりしより貿易業者の不便一方ならず、外國貨物運送手續の實行は京元線開通以來の懸案なりしが今回愈々元山驛に稅關派出所を設置し十日より既に事務を開始せり、此結果、元山方面に於ける外國貨物は同所の手數を經ば輸移出入自由たるに至れるより何れも多大の利便を感じ當業者の喜悅一方ならずと

◎一萬燈計畫

京城電氣會社に於て本月一日より實施しつゝある電氣の一萬燈擴張計畫は社員總掛の態にて勸誘に力めたる結果既に數百燈の申込あり盛況なりと

◎兩將軍招待宴

在京城新聞通信雜誌記者團は來る十九日午後七時より花月に於て饗宴を張り立花第九師團長並に古海警務總長を招待す可し

人事消息

▲今泉嘉一郎氏(工學博士) 十六日入京巴城館へ
▲白石鶴三氏(大倉組社員) 同上

■南言北語■

歐洲戰線では戰爭の隙に音樂が非常に歡迎されて居る相な▲殊に佛軍はピアノを英軍はマンドリンを露軍は手風琴を伊軍はヴアイオリンを好むと云ふ▲又た以て各軍の性格を窺ふ事が出來るは面白いではないか▲東京滯在中のタゴール翁の歡迎會を寬永寺で開いた時▲タ翁はベンガル語で流暢な答辭を述べた▲其の後へ大隈伯が立つて只今タゴール聖者が英語で話されたがベンガル語をすつかり英語に仕て了つて知らぬ顏▲伯は始めはタゴール聖者と云つて居たがお仕舞には何時の間にかタゴール翁者となつて翁者〱で押し通した▲其の日は二百餘名の會員中座蒲團はタ翁許りで大隈伯は脚が惡いと云ふので特別の詮議でお相伴に預つた▲高田文相でも河野農相でも少しも構ひ付けなかつたので歸りには兩相共帽子がなくなつて玄關に立往生▲タゴールと云へば近頃東京邊ではタゴールと云ふ言葉が流行して居るらしい▲何の事かと聞くと居眠をする事で冥想に耽る意味だ相な▲是から段々眠くなるからタゴール連中が非常に出來よう▲千葉の敎育總會で田子內務書記官が滔々二時間の長廣舌を振つて居た時五年生と六年生に町長の名と郡長の名を質問した▲處が滿足に答へたのはたつた二人しかなかつた▲後で聞くと其の一人は町長の子で一人は郡長の子であつた相な▲何でもない樣な事だが敎育家には面白い一例ではないか

染料問題

我邦のコールタール分餾事業
中央試驗所技師 今津明氏談

■邦產四十萬石=中央試驗所の新發明

內地のコールタール工業は甚だ幼稚にして、すべてのコールタールを蒸餾してこれ等貴重なる原料を採取するに至らず、僅かに東京瓦斯株式會社、名古屋瓦斯株式會社、大阪瓦斯株式會社、神戶萬俵商店、福岡縣八幡製鐵所、及び三池坑焦煤工場等にてこれが蒸餾を實行するに過ぎざるが其の加工程度も未だ低度のものたるは遺憾多しとす。故に戰亂後これ等の原料も暴騰に暴騰を重ね、染料製造希望者をして容易に手を附け得ざらしめたり。而してこれ等二三のコールタール蒸餾所は、戰亂以來俄に活氣附き其の資本の如きは僅か二三箇月の後には全部之を取返し得るの有樣にて、これ等製造所のみ獨りその利益を壟斷しつゝあり。

▽內地の產出額 內地に於けるコールタール產出額は約四十萬石(八萬噸)に達す。近年之を東京大阪九州の三中心地に集め、蒸餾計畫の行はるゝも未だ其體的の運びに到らず。蓋し內地には特にコールタールの運搬用の貨車の便を缺げるに因るなるべし。之等コールタールを三中心地點に集め蒸餾するは、我國の染料工業の前途を多望ならしむる所以にして外國の例に倣ひ一日も早くコールタール運搬貨車を造りこの計畫の實現せられんことを希望に堪へず。今コールタール八萬噸の中その使用ゆるものと運搬の目減りとを二萬噸と見積り、殘り六萬噸を蒸餾するとと假定せば次の割合にて種々の物質を得べし

ベンゼン	一一〇噸
トルイン	一四〇噸
石炭酸	二八〇噸
クレソール	七〇〇噸
ナフタレン	三四〇噸
クレオソート油	四三、二〇〇石
輕油燃料油	三二、七〇〇石
發動機油	二、五〇〇石
アニツンソルト	一六五噸
硫酸アムモニヤ	一六〇噸
粗製アンスラセレ	二〇〇噸
ピツチ	三八〇、〇〇〇噸

この內ベンゼン、トルイン、石炭酸、アニリンソルト、硫酸アムモニヤ等は多々益々辨ずるものなるが、ナフタレンはこの數量は價格內百萬圓に相當する人造藍を製造し得べく殘部は陸軍被服廠にて防蟲劑或は個所の防臭劑に使用するものなるが、一時は生產過剩に陷る恐あるべし、ピツチは煉炭製造に用ゆるものなるが、かゝる多量のピツチを煉炭製造に用ゆるは容易なる業に非ざるべし。即ちコールタールの製品は運搬上に困難あるのみならず、この製品の販路にも相當の困難ありて、この工業の成立をして困難ならしめたるならん

▽新染料の發明 我が朝鮮の中央試驗所にては染料の缺乏が我邦幾多の工業に多大の損害を與へつゝあるに鑑み之を補はんが爲め、嚢きに染料の製造を研究中なりしが、苦心の結果一の新黃色染料を安價に且つ多量に製造する事を發明し、之をニユーモルダント、エロー、ピーと命名せり。此の染料は獨逸製人造染料に比し些の遜色なき黃色染料にして日光に强く、又洗濯にも丈夫なるのみならず獨逸製のものに比し安價なるの特徵を有す。染料問題の喧しき今日聊か意見を述べて大方の參考に供したる次第也(完)

●腦天を毆る 平南順川郡內…に打ち倒れ人事不省に陷り同日午後…は何れも竊盜前科數犯の惡鮮童なる…共謀して平壤市中を荒し廻…

●娼妓の狂言自殺 …

日韓書房
新版報吉
日支條約總覽 支那研究社 定價一圓 送料十錢
採鑛設計 內田銀五郎著 定價一圓五十錢 送料十四錢
日蓮上人 熊田宗次郎著 定價九十錢 送料六錢
入學試驗豫備書 實業學校中學高女校 定價四十錢 送料四錢
支那研究 專門大家執筆 定價一圓二十錢

機械油 カーバイト
營業所 門司市
車印機械油 石油 輕油製造販賣
日本石油會社機械油九州一手販賣
信濃電氣會社カーバイト西部一手販賣
製油所 新潟市關屋大門前

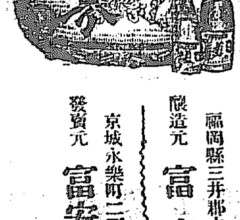
長編講談
講談界の彗星
第九編 大久保彥左衛門 新刊
四六判每編五百餘頁 口繪二葉插畫八十個
正價各三拾錢 送料
1. 木下藤吉郎 十六版
2. 赤穗義士 十六版
3. 岩見武勇傳 笹野名槍傳 十四版
4. 伊達騷動 十一版
5. 怪談牡丹燈籠 佐賀の夜櫻 十二版
6. 天一坊 村井長庵
7. 佐倉宗五郎 文七元結
8. 由井正雪 十一版
續刊 10. 紀伊國屋文左衛門 錢屋五兵衛 11. 幡隨院長兵衛 12. 荒木又右衛門 澁川伴五郎

銷夏の友
◎キリン印◎
▽サイダー
▽シトロン

▽召上て涼味を招き
▽飲んで心氣爽快
製造元 日の出商會

氷
朝鮮製氷社京城販賣部
山下磯吉

小兒科 內科
京城吉野町(元仲ノ新地遊廓跡)
自午前八時至午後五時 普通診療
自午後五時至同十時 實費診療
入院隨意 雨森醫院

優等清酒

福岡縣三井郡山川村 釀造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店

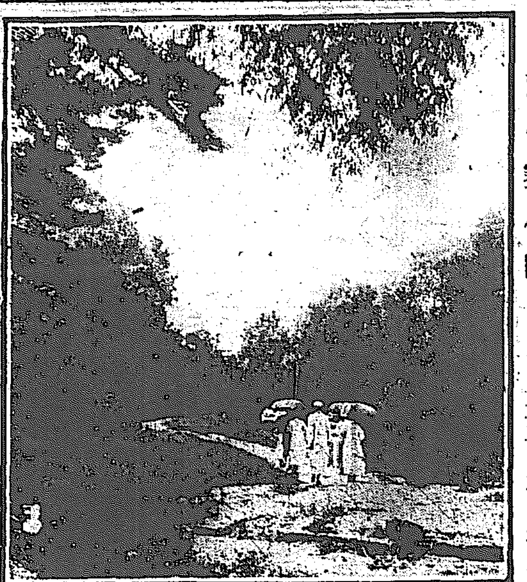
らんと言ひかけたるを見るや金は[illegible]の携へ來れる棍棒を奪ひて腦天に激しき一撃を加へ金は腦震盪を起し其場[illegible]

●鮮童は前科者 平壤府[illegible]里金炳喆（三）及び金某者（一七）の兩名きたる事判明せりと

四月廿三日巡査[illegible]里李方に忍び入りたるを手始めに十數箇所にて窃盗を働き[illegible]

[illegible]げ倚けたるに一名の[illegible]居れるより大に驚き船を乘出し[illegible]鼠の女を救ひ揚げたるが此の女は永[illegible]方に六日午後去りたる出者あり届出に依り其筋に[illegible]

[illegible]春（二）と爭闘し同人の腹部を踏みて腹膜炎を惹起しめ李春は同日午後八[illegible]府新陽里に居住し居れるが昨年三月[illegible]內地に歸省したる際詐欺を働き其[illegible]の眼を晦まして平壤に逃げ歸り[illegible]



雨の霽れ間……清涼里……

●日本は愛の世界

〔印度詩聖の大觀迎會〕
〔熱の罩つた翁の答辭〕

印度詩聖タゴール翁歡迎會は十三日午後三時半から上野寛永寺百數の大書院に開かれた來會者は大隈首相河野農相高田文相を首め學術宗教文學美術實業界の名士二百五十名と註され在京滯印度人九名之に加はり歡迎委員のみで三十名を越すと云ふ盛況であつた本堂前で記念撮影をして閉會さる講演會當日の儘の服裝をした主賓が鴨居に土耳其帽を支へさせて著席すると河瀨秀治翁が發起人を代表して開會辭を述べる詩聖の次に大隈首相が義足を妙な恰好に伸して坐ると其尊先に河野農相がフロックの膝を折つて伏目勝に危坐まる佐野委員が主賓を內ケ崎委員が首相を背後から頻りに風を送る次ぎに

日置默仙師が底力ある聲で佛語澤山の歡迎辭を呈する『タ氏は佛陀以後印度が産める第一人である我々は主賓の爲めに凡有便宜を計つて心の儘に日本を研究せしめ度い——私の言うた事はタ氏に較べると寢言にも當らぬが……』と滿場を笑はせつゝ通譯の山上曹源氏に草稿を渡して座に就く主賓はベンガル語で前後四十分に亘り恐ろしく熱の罩つた答辭を述べ木村龍寬氏が邦譯する『私は神戶に上陸した時眼に映る日本の事物を眺めて甚く失望落膽した寧ろ日本へ來ねばよかつたと思つた、東京へ來て日本人の優しい言葉と行ひとを見て其處に初めて純眞の日本と日本人とを見た、私は力の世界科學の世界なる歐米諸國を見ても何等自分の琴線に觸るゝものを見出さなかつた然るに私は東京を透して日本が聖い愛の世界であり[illegible]返る如き生命の衝ぎりである處の新日本を心適くばかりに眺めたそれと同時に日本人は誠に口數が少い卽ち不言實行の民族である事を發見し聖き潔き日本人の精神の奧底を流るゝものは佛陀の敎化に培はれた日本魂の磅礴たる閃めきである事をも感得した——私の見る處にして誤りなくんば日本には西洋文明の威化と建國の昔から傳へたる精神の二方面がある此二つを調和して打て一丸と爲し

これを大根抵として將來の大事業を爲て欲しい——希くは東方の曙光が西を照らす如く我が哀れむべき印度をも光被して欲しい是れ我印度全人民の大なる希望である』大隈伯が起つて愛嬌澤山の謝辭を香水の如く詩聖の頭上に浴びせて餘興となり宮川如山の尺八『阿字觀』一曲と三弦合奏があつて精進料理の配膳となり主客歡を盡して散會したのは午後八時頃であつた（東京）

●ス氏墜落

五百呎の高空より

十六日鳥人スミス氏は札幌にて二回の飛行を爲したるが五百呎の高空にて發動機に故障を生じ大音響を發ずると見る間に墜落し機體は粉碎しスミス氏は大腿骨を折り氣絕せり（東京特電）

●圓覺寺新管長

臨濟宗圓覺寺は管長缺員中なりしが今般釋宗演師管長に就職の儀願ひ出でに依り十五日文部省より認可されたり（東京特電）

●小學生の家出

▽百餘圓を拐帶して

京城府義州通り二丁目永興精米所主秋洪圭の長男にて目下京城漢洞公立普通學校二年生なる秋鑄大（二）は去る十三日父洪圭より現金二十餘圓と手形八十圓とを朝鮮商業銀行南大[illegible]

●財三頭を生擒る

平南孟山郡鐵田面咸溫洞四柱山附近には近來豺出沒して家畜の被害彩しきより去る七日龍倉憲兵出張所の憲兵は擸銃所有者徐某を指揮して豺狩を行ひたる結果十箇年位を經たりと思はるゝ體量十貫餘の豺一頭を射殺し生後二箇月位のもの二頭逃げ惑ひ居たるを生捕りたりと

●大嘗宮の燒却

御大典の際設へたる大嘗宮の建物は十五日午前八時より京都鴨河原にて燒却せられたり（京都電報）

●東京丸の内の針金強盜

一家六人を縛つて脅迫す

十四日午前三時半頃麴町區內幸町一色活版所主一色忠雄の控邸なる一色みつよ方に覆面強盜押入り豫め電話線を切斷し女主人みつよ（三）を始め妹某（二）及び女中四人の一家六人を針金にて後手に縛し短銃を以て強迫し主人を案內として金庫內に在りし現金百卅五圓及び十五形七寶女持銀側時計及び衣類數點を強奪し逃亡せり（東京）

●踏み躪られて絕命

全南光州郡東谷面上船里鄭鍚白（三）は五月十九日午後八時頃同里酒幕李風先方にて飮酒し居れる際附近の李大中（五六）が入り來り何事をか獨言したるを聽き自分を侮蔑したる言葉ならんと思ひ逃へ俄かに起ちて格闘を初めた揚句足にて腹部を強く踏み躪[illegible]

□墨色を知るの明

▽矢上所長世人の△
▽不明を悲む一條△

回孔子が或時「他人が俺の明を知らない事を患とせしない」と言つて威張つた事がある丌して「俺を知る事が能ないのが可哀相だ」と言つた。

回美術品製作所で製作した何とか云ふ墨は優に市中で同價格の鳩居堂墨などよりもいゝんだ相だけど世間の褻い人達は大抵お値段で其善惡を云ふするのが矢上所長には殘念で殘念で堪らないんだ相だ。

回或時總督府の某課から辭令用紙に幾種かの墨で並べて書いた墨の檢定を表と云ふ樣なものをよこして「美術品製作所の墨が何故いゝんだかチットも分らないではないか。御覽なされも是れも同じ艶と光とを持つてる是れなら別に美術品製作所の二圓の墨より鳩居堂の七十錢の墨の方が經濟ぢやないか」と言つて來た。

回矢上さんの眉はピリ〳〵と動いたが次の瞬間には口邊に冷たい微笑が停雲浮艶と顯れた丌してボーイを呼んで一挺三錢の二圓の迄十幾通りとなく持つて來させて濃く磨らせて其れで字を並べて書いた。

回「如何です、どれが辭令書きに適してる樣です？適してゐないのがあつたら何故適してゐないか其理由を聞かして頂き度い」と書いて送り返した漆の加減で黑色が光るのや磨り具合が固いのやそんな事許り褒めて其返事は蘭張り墨の眞價を知らない者の言ひ分であつた相だ。

回停雲浮艶が今度は矢上さんの鼻の上に上つた「鳩居堂の墨に七十錢もお出しになるより何卒製作所の三錢の墨をおつかひ下さい其方がどれ丈け經濟的だか知れませぬよ。」

回犬養木堂が交絢社での演說だと云ふ墨と硯の話が東京大阪の新聞に出かけたのを發見した矢上さんは近頃に無い知己を發見した樣ないゝ氣持でゐると云ふ。

●池から嬰兒の屍體

忠南牙山郡臨時面松谷里の洪淳規なる者本月五日同里前の池の魚釣りに行きたる際池中に腐爛したる嬰兒の死體浮び居れるを發見し所轄溫泉里憲兵所にて檢視したるに他殺の疑ひあり犯人嚴探中の所右は同里の寡婦黃氏（三）が附近の李海哲（五）と情通しだる結果去る三月二十日夜分娩し同夜黃氏は海哲と共謀の上嬰兒を殺害して右の池中に投棄したるものと知れ兩名は其筋に捕へられたり

●出羽海渡鮮期

取締役出羽海は東京に於て俄に用件出來の爲め一行に後れ本月下旬京城興行頃に渡鮮一行に加はる筈なり猶對馬洋は大池旅館に待乳山は尾張屋旅館に投宿せり（釜山特電）

●東京相撲渡鮮

東京相撲一行中西海、大錦等十餘名は十六日朝下關發連絡船にて渡鮮せり（門司特電）

●太平町の火事

十六日午前四時頃京城太平町一丁町蒲上某方物置小屋より發火したるを常備消防出動同五時頃消止む原因は火消壺の火の不始末より發火せしものなりと損害二十圓

●頭骨を碎いて

京畿道楊州郡和道面芝屯里尹起董（五）は去る七日午後四時頃自宅裏の桑の木に昇り桑の葉を摘み居れる際足場の枯枝折れて高さ十五尺の箇所より眞逆樣に墜落し頭蓋骨を碎きて卽死せり

●小兒の溺死

京畿道富川郡多朱面九月里李千應長女李順伊（二）は十三日午後三時頃母の申氏が隣家にて麥粉摺りをなし居れる際附近の井戶に墜落して溺死したり

●失敗して縊死

山口縣人輔近柳之助（四）と云ふは郷里にて失敗し大田礠尾力町三好酒店に身を寄せ居りたるが大田川にて朝鮮人の溺死[illegible]

●是れも運命

十五日午後七時頃京城林町池姓女二男にて當時櫻井町一丁目某店に雇はれ居れる池慶星（二）は自轉車にて鍾路通一丁目金田某方前の街路疾驅中折柄醉酊して通り蒐りし照格洞の醫生崔鍾德（六二）に衝突し同人は大地に打倒れ頭部を強打して人事不省に陷りたるより早速最寄り醫院に就き應急手當を加へしも約一時間の後遂に絕命したり池慶星は目下取調中

●亂打して強奪

京畿道楊平郡江下面雲沁里丁大伯（二九）は去る四月二十二日同面旺倉里酒幕趙命順方にて飮酒し居たる廣州郡學月面新月里李鐘九に對し酒の分與方を請ひ同人が金員を攜帶し居るを知り二圓の無心を云ひて拒絕されたるより同人が立去りたるを追跡して人離れの松林に差蒐るや背後より亂打したる上所持金五圓四十五錢を強奪し逃走したる事發覺し檢擧せられ京城地方法院にて懲役十年の處分となりたり

●一家を縛り上ぐ

全北鎭安郡富貴面萬金里金永代方へ七日午後十一時頃各棍棒を攜へたる三人組の強盜飛び込み家人を悉く縛りつけ衣服を以て面部を覆ひ置き家屋を搜索の上白米三斗五升葉煙草十一把白木綿男物袷一著總見積五圓八十錢を強奪し逃走せり

●銀時計を盜む

高陽郡漢芝面屯芝里蜜柑行商朴黃國（三二）は五月三十一日夜京城北米倉町張大根方より銀時計一個を窃取し貫鐵洞の質屋に入質したるを發覺し本町署に檢擧されたり

●長崎縣人會

長崎縣人會は本日午後四時より南大門通りフアミリーホテルに於て開催す可く既に多數の申込者あり頗る盛會を呈する模樣なるが尙ほ可成多數の出席者を希望すと

本年秋宮中にて行はせらるゝ新嘗祭に供ふ可き獻穀の內へ朝鮮にては黃海道に與と京畿道に米の耕作を命ぜられた京畿道にては富川郡稻荷洞なる小柴淵作氏が命を奉じて米の耕作をして居るが小柴氏は去る十日獻穀の出穗を求め嚴かなる田植の式を行つた

□獻穀齋田植式

●賣上金を盜む

京城本町二丁目末廣某方雇人高陽郡龍江面老姑里生れの李百錄（三）は六日夜家人の隙を窺ひ賣上金五十三圓餘を窃取し自分の寢床の下、二階の屋根裏、表の看板下等に隱匿し居れることを發見され本町署に引致さる

●周旋屋は曲者

山形縣東置賜郡犬川村生れの鈴木丹作（四）は去る二月より五月中旬迄高陽郡神道面三松里金昌厚方に滯在し附近朝鮮人の依賴に依り土地所有權の證明申請其他一般土地に關する種々の周旋をなし居れる內同面梧琴里高奐成外[illegible]

●臨濟宗興學部長出發

臨濟宗妙心寺派興學部長林文肇師は京城に於ける講演を了へたるを以て十七日正午十二時南大門發列車にて大田に向け同地の信徒を慰問し一泊の上湖南線裡里に到著し卽日引返して十八日夜行にて釜山に向ふ豫定なるが巡錫師貝多嶋師は卽日鄉里に向け木浦の一行と別れ木浦に向ふ由

●日本麥酒大賣出し

今春以來景品附賣出しを行ひ期日前に豫定の箱數を賣り盡し頗る盛況を呈したる大日本麥酒株式會社のサッポロ、アサヒビールは今回更に需用家本位の大景品附賣出を開始したるが其方法は一打每に景品小券一枚を進呈一等は勸業債券二十圓券大券四打入は同八十圓券一枚其他一枚の空籤なく其總額四千數百圓に上れりと

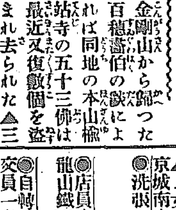
運動欄

▲滿洲庭球爭覇戰

去る十一日遼陽で滿洲に於ける各方面からの庭球爭覇戰があつた南は大連、安東から北は長春迄沿線十二箇所からの選手が卅六組集り朝の八時から午後六時迄戰鬪を續けた末優勝旗は最後の第六回戰で遂に大連の森木山井組に落ちた嘗て鮮鐵の御大として名を謳はれた武田は淸水と組んで最後の六回戰迄奮闘したが遂に優勝旗は他に奪はれてしまつた何しろ滿洲では是れが最も代表的なマッチではあり興味も深かつたらうと思ふが先月滿鮮を修學旅行してゐた山口高商の庭球團からは滿鐵全線各地の選手が蹂躪されたのに其れが朝鮮に來ては唯一回釜山で勝つた許りと云ふ憂目を見せられた歷史があるのだから大抵見當もつくが此秋の鮮滿兩鐵道の對抗戰こそ素晴らしい活鬪だらうと今から期待される

投書

大弓場の設置に大贊成なり好弓生の住所紙上にて御知らせ願みます大に同好の士を求む（西大門大弓樹好生）▲內地では女學校でテニスやピンポンが隨分盛んの樣ですが京城の女學校の運動では何が一番お盛んなのですか（近頃來た女學生）



金剛山から歸つた百穗齋伯の談によれば同地の本山楡岾寺の五十三佛は最近又復數個を盜まれ去られた▲三人組の泥棒は和尙が夕方の勤行をあげて居る隙に能仁殿內に這入りこみまんまと大事な寶物を奪ひ去つたのだ相なが洵に惜しい事をしたものである▲佛像は初め樹の樹になぞらへた枝頭に並べ古代此の寺に渡つて來た西方月氏國の五十三佛に作つたものであるが從來度々の盜難で今は三十幾つしか殘つて居ない▲その中には稀らしい六體の高麗佛もあるが總體高さ一尺三四寸乃至七八寸の珍らしい彫刻小銅佛であつた▲そして初め枝の上に安置した時には何の災難もなかつたのだが近頃手近い須彌壇に並べた爲めに度々盜まれた洵に惜しい事をしたものだと

讀者文藝（一等には五十錢の商品券を呈す）

△川柳題「歯」

○愛嬌の白歯に何日か虫がつき（一等）　平南永柔邑內　淸水芳月

△ザエルダンにや一寸聞逃も歯がたゝず　京城　閑安　汀舟
△思ひ出し思ひ出しては歯が痛み　京城　多　榮子
△歯がよいと豐富自慢で豆を食ひ　仁川　圖　水
△隠亡は死んだ金歯で醉ぱらい　龍山　山陰　四男
△入歯では咀嚼し兼ねる支那料理　京城　白　助
△食へぬ奴歯の浮く樣な世辭を云ひ　京城　山　鶯生

物は付『目障りになるもの』　締切十五日發表十八日
一口噺『朝鮮に關して』　同十六日　同　十九日
謎『生ビールとかけて』　同十七日　同　二十日
はめ句　同十八日　同　廿一日
狂歌『飽』　同十九日　同　廿二日
俗謠『鏡』　同廿日　同　廿三日
次回川柳『先生』　同廿一日　同　廿四日

■募集規程　▲用紙は端書又は同型の半紙一枚每に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲發表は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事總て一題二句以內の事▲此規程に違はめものは沒書

京日案内

普通（一回前金三十錢無割引 匿名一回每に金五錢增）
番外（一回前金六十錢無割引 匿名一回每に金五錢增）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通

●電氣主任技術者依托に應す 本町電車終點 ▲長生堂 電話取次弐〇弐番 826
●男女記者事務員女中入用履歷書持參午後六時より委細本人來談 ▲吉野町壹ノ壹弐電話二七七二 827
●自寫字生木內職共適する希望者採用收入相當 長崎市十八町會資會社常國社 828
▼御不用の古本雜誌は是非ウツボヤへ 電話二五二七 振弐弐參 320
●內勤女事務員壹名至急入用年齡不問 業務永久事務簡易高給 給限本談 823
●店員入用年齡十四五歲以上 修繕、見習希望者 京城本町一丁目時計 電話二二〇一番 平井勵資堂 824
▲見習看護婦至急募集 ▲上女中至急入用本人來談 京城南米倉町上野醫院 電話二九三四 819
●洗張 ●染物職人一名至急入用 龍山漢江通三番地 櫻屋染洗張工場 814
●店員入用十五歲以上二十歲迄 龍山鐵道構內電車終點船尾雜貨店 電話五〇二番 815
●自轉車職人一名自轉車經驗有外交員一名至急入用身元保證人要す 京城南大門通二丁目ミノヤ自轉車店 807
●病院並地方患家の付添及看護婦派遣に應す 朝鮮看護婦會 京城櫻井町二ノ一九 電二五三二番 311

番外

●時計學 修理獨習諸話◉內容目 ●特價金弐圓但前金に限送料負擔◉呈 振替京城三一 京城黃金町 植村支店 829
▲通勤女工弐名入用 品行方正身元確實にて十五六歲より廿四五歲迄の者給料面談本人來れ 京城南大門外（藥房）ドラッグ商會 825
●醫師一名至急雇入たし 希望者は履歷書携帶本人來談あれ 京城南大門正面 救世藥舖 822
◎牛乳配達夫數名入用希望者は至急來談あれ 但市內に要保證人電話九三六番 京城西大門外金華山下 東洋牧場 817
東京常盤タワシ飾 製造販賣 京城南大門通三丁目電話一壹九八番 栗島辰次郎 366
店員募集 市內確實ナル要保證人直接來談 電話九三五番弐一〇七番 京城本町三丁目海陸產物商 森川商店 813
營業資本便利貸付 御用の方は午前中に來談有れ 櫻井町一 電話三四六 杉本質店 805
分礦物各種拆 京城太平通二ノ一二五 電話二三四四 坂元分拆所 810
●京城春川間自働車道 ●京城發午前八時◎春川發午前八時 南大門通一丁目 電話二一九番 廣橋自働車組 主務 金正淵 322
カシ地 古市町電車通約二百坪水標橋黃金町筋北へ入る十間約五百坪地料抵廉便宜分割貸與の御相談に應ず 蓬萊町二丁目電話二二三番 川澄 351
▼鑛物買入所開設 京城太平通二丁目五十八番地 電話七四五 鑛物賣買商行 370

遊漁船 約道具 御小賣 仁川海岸町三丁目角 芹川漁具店

京城本町二丁目四五二 山田醫院 內科 小兒科 院主 山田萬作 電話二八〇番

今般仙臺醫學士尾形周太郎氏を招聘し眼科及花柳病科を開設し診療に從事す 眼科 花柳病科 尾形周太郎

君が代は 毛質を損ず事決してなく二十分間に染上り色沢長く變らず……一度御試み下さい 定價 一壜 金二十五錢 本品ハ全國藥店小間物化粧品店ニアリ

白毛赤毛染 君が代

大阪屋號書店 京城本町三丁目二〇八

新刊書御案內
支那研究 信賴精鑑（上下） 杜鵑研究 西洋時代史觀 現代批判 兒童精神生活と敎育 敎育界表裏 簡易生活法 銀行法 銀行檢查及監督法 最新速記の栞 商業書式 總督府巡查受驗提要 現代の代數學解法 初等代數學講義 電氣通論 家庭小兒科學 ストラスブルガー植物學下卷 安產のしるべ 陣立くづす法 實用ペン習字帖 初對面 行 春浪快著集

●ほねつぎ（うちみ）等 一切の治療依賴に應ず 明治町 柔術道場 334

●廣告 朝鮮鑛山株式會社設立に關し其他の書類を以て本年四月二十日の出願者諸君へ御發同相求め候處定の申込者無之に付發起人一同此段廣告す 六月十六日 朝鮮鑛山株式會社 創立發起人

女鳩

渡邊默禪

二七 ふたおもて

秀子の幼な顏はどうしてか父の子爵に肖てはゐなかつた。家扶の鈴木夫婦はとくから其處に目をつけた、幾らか淡い疑念も交らないではなかつたけれど、慾じ主人の氣を惡くさせるでもないと思つて默つてゐた。子爵は何事にもあまり細かい穿鑿立をするとは嫌ひな殿様氣質だけに、それと心づいても態と呑殺してゐるのか、但しは全く知らずにゐたのか秀子が二十二になるこの年までも、つひ那麼事を噯にも出した例がなかつた。

併し母には瓜を割つたほどによく肖てゐた。鳩子の方は痩削の、どつちかといへば高麗系の細面で、その美しさが消極的にたもたれてゐるが秀子はそれと反對に肉づきが豐かで背も、五呎そこ〳〵といふ高さである。そして皮膚の色が白薔薇のやうに冴わて、滑かで、髪はやゝ褐色を帶びた縮れ氣味といふだけが難だけれど、ぱつちりとした大きい眼の、少し苦味をもつた瞳に生々とした表情のはたらいてゐる、垂直の鼻の隆の嘴形になつてゐる、齒並の綺麗な、眉毛の濃い、凡ては釣合のとれた美しさが積極的に輝いてゐた。ちよつと見た人はその全體が、ブロンド型に出來揚つてゐるので、直に混合兒といふ事を頭腦に泛べるくらゐだつた。

小兒の時には鳩子の方が虛弱な質で、よく呼吸器病になつたり腸を惡くしたりした。で、双親はどうにかして丈夫なものにしたいと苦心して出來るだけの體育を施した。その結果で小學科を卒業する頃は、もう見違へるほどの健康な體になつて、活潑に飛んだり跳ねたりした。自然運動といふ事に趣味をもつやうになつて、學習院の女子部に入つてからもロンテニスなどにかけると、いつも級の女王になつてゐた。それがだん〳〵進歩して來て、騎馬をやる、水泳ぎをやる。折々父のお伴をしては、兎狩だの鳥打などに出かけて行つて敏捷な足を闘夫のチョルチと競爭させてゐた。銃の照準もおひ〳〵正確になつた。

秀子の幼年時代は極めて強健な方であつて、風一つ引かなかつたのが本邸へ入つてからこつち、氣の持方や境遇やらが、急に變つた故か、とかく多病勝であつた。で、父の子爵は體を鍛練させるには、どうしても自分の戸外生活主義に同化させるに限ると思つて、いろ〳〵に慫めるけれども、彼女は鳩子のもつやうな趣味にかぶれたとを好まなかつた。寧ろ音樂だとか、踊だとか、繪だとか花だとか、そんな優美なことにのみ心を惹きつけられてゐた。此頃では舞踏にうき身をやつして、メリーさんといふ伊太利生れの女子毎日來て貰つては、トーダンスだの、ポルカだの、マヅルカだの、ガロップだのを練習してゐる。

こんな風であるから二人の性質も餘程違つてゐた。鳩子はどうかすると父の口から、

『お前はいつまで少姐さんでゐるのぢや。もう二十ぢやといふのに喃う暢氣でも困る。少し大人らしくならんけりや、花嫁さんにはなれんぢやないか。』

と言はれるほどの無邪氣で、頭腦にはラケットと網とさうして愛らしい犬、白い小馬の外はなかつた。人生といふものは自分である、自分は宇宙である、宇宙は美しくて且つ娯しいもの、只をり〳〵寒くなつたり熱くなつたりするものだ、とばかり思つてゐた。

『だつて、お父様。大人になんかならなくつても宜しうございますわ。お嫁さんになつたり、赤ちゃんを産んだり、お母様になつたりするのはみんな大人でせう。その大人が私し嫌ひなんですの。』

こんな返事を眞面目にするので、父はいつも笑つた。それを傍で聞いてゐる秀子は、同じやうに冷たく笑つたものだ。

彼女の腦にういたその冷笑には、鳩子などの想像だもつかない複雜した思想がひそんでゐた。

パンもよし キャラメルもよし若葉かげ 木村屋 京城明治町電話二八七〇番

ポンプは 京城本町二丁目 熊平支店 長電話六二四番 振替京城二二番

■アジロ會句録

濱干付く泥に柿の花落つ 蕪雨
草葉重ねたるなに柿咲けり 同
柿の花山見わし髪り包めり 同
柿の花二三日を出遁入る 羽双
足長々の緑に柿散りぬ 同
柿の花落つ瀧のあほる草 同
洗濯の風乾きゝ暮れ柿の花 翠三
花柿日影つくれば道ふ蟲の見ゆれ 同
海づらうするなる帆光りの柿の花白 同

○

葵草中に立つる清水噴く 左右郎
人聲ある貯炭所に眞甍の清水 同

○

清水音する板の間へ山拱の落つ 蕪雨
清水へ下り行く路葉重ねたる 同

○

螢飛ぶ莪田よりの水音低し 左右郎
籠螢松句ひ來る流邊の宿に 同
螢飛ぶ焚く藻の蠕りたり 蕪雨
書螢髓を拔く山吹を折る 同
螢籠の中の草の實付きぬ 羽双
籠螢橋に轟くくるま 同

○

大空突くポプラ動かず五月雨 鐵王鬼
梅雨晴れ間放牛の野廣々 小草
雲の峰強き陽落ちたり 同

▲嘉藝京季雜吟五十句以下得▲末日締切京城花園町六七杉原柿苑

新刊紹介

▲文字の起源(通俗大學文庫第六編)文明の度量衡たるべき文字の起源に就て興味ある研究を發したるもの八章に分ちて緒論、假名の起源、文字構造の冒匠、支那文字の八方起源說、アッシリア、バビロニア文字、埃及文字、文字となり考へられたる古代の文明、文明程度、風俗、習慣、迷信、思想、政治、生活狀態等を研究せし事中數百の原形文字及び其の變遷せる太古の文字を載せたれば一層感興を深からしめたるは上乘と謂ふべし(三十錢東京市京橋區加賀町西新大阪)

▲營業の栞 定價不詳東京市日本橋角近江屋西川商店

▲貰入小學新報(七月號) 頭のない御臍の中に自ら教訓になる記事が澤山あります(五錢東京府中澁谷三〇九其社)

▲トモダチ(二の七) 坊つちやんや御孃さんが一度御らんになつたら特別待ちこがれる程面白く出來て居る教育繪本です

▲新少女(七月號) 御待ち兼ねの魔法の鏡の續きものには西遊記物語り、長編小說二つの星、ニコラスニツクルベー物語があります、其の他少女料理、少女家事、歡びの私の望みなどがあります(十二錢東京市麴町區富士見町一の三〇二葉社)

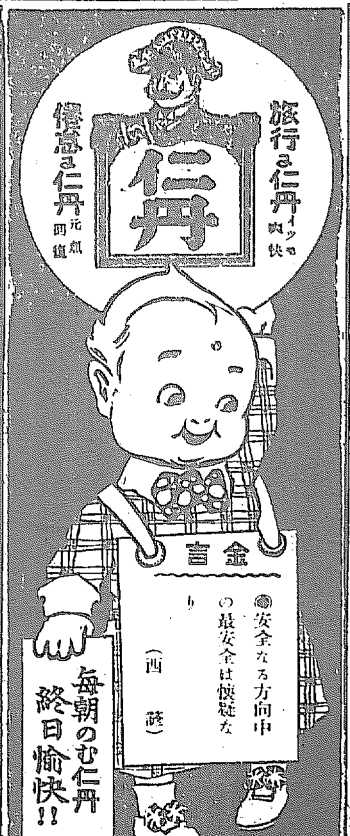
▲家庭と趣味(六月號)家庭と玩具の改題にして遊樂の話、旅行の話、世界各國傳說物語、國語作法講話などあり(二十錢東京市日本橋區本石町二の一五家庭俱樂部)

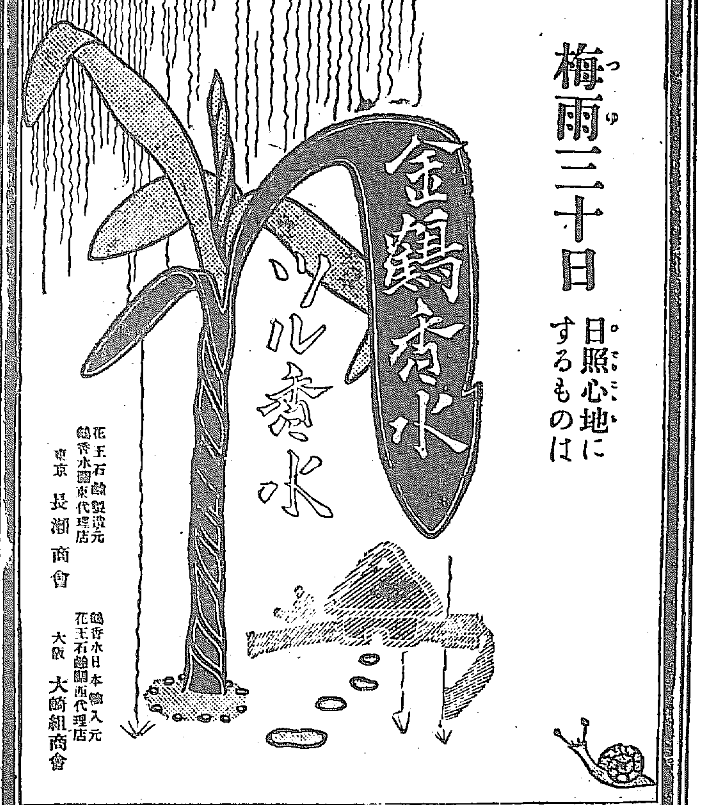
讀者の領分

東京相撲も來れば芸も來る相な京城の娯樂界は春風春水一時に來るだ(印袢纏)▲盆栽の好時節になつたが盆栽會でもやつては何うです(夜市の爺)▲貰紙朝刊一面に御連掲の百穗氏の畫は實に巧いものですね早く展覽會をやつて貰ひたいものです(同好會一幹事)▲近來鵲が非常に減つたが何うしたのだらう彼の鳥は保護すると好い(理學士)▲大日本麥酒株式會社京城出張所のビール賣出廣告に「一打宛買ても景品券が貰へる」とあり、何だか一種不快な氣持を起させる文句の樣に思ふ「一打宛にても景品券差上申候」と改めた方が廣告文として上品でもあり厭な氣分も起らない世間を華客にする商賣人には斯ることにも細心の注意が必要であると思ふ(KH生)▲扨て小生事十三日所用有之候爲め午後の十二時頃京城鍾路より電車に乗り練兵場迄至り申候京城に於ては珍らしき程電車乗客滿員にして車掌さん頓とめんくらひの態に見受けられ申候事實は實に驚くの外無之候小生目撃せしものにても電車賃をゴマカシたるもの三四名に止まらず候而かも服裝上より云はゞ俗に一見紳士とも云ふべき三錢の電車賃もなさうにも見受られざるものも有之候は實に遺憾千萬に存候(憤慨生)

商況

下關期米特電





▲富の道しるべ 山縣五十雄 村上唯吉共著 價十五錢 郵税二錢 京城太平通 振替三〇〇番 京城日報社代理部

日本郵船仁川出帆
○大連、太沽、牛莊行
相模丸 七月五日 正午出帆
高砂丸 七月十五日 正午出帆
三河丸 六月廿四日 正午出帆
仁川海岸町二丁目 電話十一番 堀回漕部

汽船釜山出帆廣告
○門司、神戸、大阪行 立神丸 六月廿七日後五時出帆
○元山、淸津、浦鹽行 立神丸 六月 日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行 小倉丸 六月二十日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 六月廿九日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、淸津行 第三琴平丸 六月三十日後六時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 六月十九日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天與丸 毎月二日九日十六日廿三日 午後十時出帆
釜山瀛州通 本船取扱店 大池回漕部

阿波國共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行 遞信省命令航路
第一共同丸 六月十四日後三時入 六月十七日前十時出
○城津、淸津、浦鹽行 第一阪鶴丸 (元山出帆) 月 日後九時出
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸 (元山出帆) 月 日前八時出
阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 本町一丁目電話一〇八番 山下回漕部
元山代理店 南山町電話二四四番 田口回漕部
京城取次店 電話一六八・二二一七 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
大正丸 六月 日後四時出帆
大有丸 六月十九日後四時出帆
神代丸 六月十九日後四時出帆
秀吉丸 六月廿四日後四時出帆
仁川海岸通 電話五十番 高杉回漕部

大阪商船仁川出帆
○群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行
天智丸 六月廿五日後五時出
安東丸 六月十八日後五時出
濟州丸 六月廿八日後五時出
○大連行 大智丸 六月 日 後二時出
○木浦、釜山、鎭南浦、長崎行 信濃川丸 六月十七日 後二時出
信濃川丸 七月四日 後二時出
○大連直行 日米丸 六月廿九日 正午出帆
○群山、釜山、横濱行 日州丸 六月廿三日 後二時出
○南浦、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行 大智丸 六月廿一日 後二時出
○群山、神戸、大阪行 宮島丸 六月廿一日 後五時出
○淸津、浦鹽行 須磨丸 六月廿八日 後二時出
○上海、基隆、打狗行 基隆丸 六月廿七日 後四時出
御注意 切符發賣所 京城切符發賣所 大阪商船會社仁川支店

朝鮮郵船出帆
全羅丸 六月 日
京畿丸 六月廿一日 釜山發
黃海丸 六月廿五日
咸鏡丸 六月 日
穩城丸 六月 日
昌平丸 六月 日 元山發
鏡城丸 六月 日
忠淸丸 六月十九日
平安丸 六月 日 元山發
永興丸 毎月廿八回 元山發
盈德丸 六月 日 釜山發
江陵丸 毎日 釜山發
襄陽丸 毎日 浦項發
三浦丸 六月 日 釜山發
海州丸・統營丸・巨濟丸・慶寶丸 毎日 釜山發
順天丸 木浦發
公州丸 六月 日 木浦發
公州丸 六月 日 木浦發
慶興丸 六月 日 木浦發
宗信丸 六月 日 仁川發
江原丸 六月 日 仁川發
麗水丸 六月 日 仁川發
晋州丸 六月 日 仁川發
錦江丸・南陽丸 毎日午前 仁川發
平安丸 六月十九日 六月廿二日 群山發 若松發